

平成28年度 野鳥モニターによる 足立区野鳥調査報告書



【表紙写真（クイナ）】提供：鈴木 清文 氏 舎人公園にて撮影

足立区では、平成4年度から野鳥モニターの皆様のご協力のもと、区内で野鳥の生息調査を行っております。

平成28年度は、40人の野鳥モニターが区内40地域で調査を行い、75種、延べ36,847羽の野鳥を確認しました。

例年と比べ、調査結果に大きな変化は見られませんが、ゆるやかに減少が続いている種もいくつか見受けられます。

区は、一定の方法で調査を長く続けていくことで、野鳥を通して自然環境の変遷を感じ、私たちが身の回りの自然環境とどう関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと思っています。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

平成29年8月 足立区環境部環境政策課

～ 目 次 ～

I	調査概要	1
II	調査結果	
1	年間確認種数と個体数	4
2	区内で繁殖行動が確認された野鳥	6
3	調査開始以来、初めて確認された野鳥	7
4	調査月別確認種数と確認個体数	8
5	確認個体数ベスト 10 及び経年変化	9
III	平成 28 年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録	14
	資料編	50
資料 1	平成 28 年度野鳥モニター名簿・担当地域	52
資料 2	調査月別確認種と個体数	54
資料 3	ブロック別確認種と個体数	56
資料 4～9	各調査月に確認された野鳥	58
資料 10	年度別確認種及び個体数一覧	64
資料 11	平成 28 年度野鳥モニター活動記録	70

I 調査概要

1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。
調査結果は広報等を通じて区民に公開することにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

2 調査期間

平成28年5月1日～平成29年3月31日

3 調査方法

(1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩き（時速2km程度）ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

(2) 調査人数

野鳥モニター40名による。

(3) 調査項目

種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

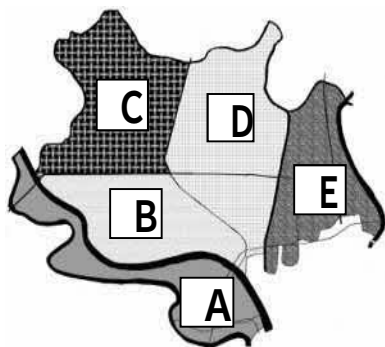
(4) 調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ1日のうち、午前6時から午前10時までの間の2時間程度（調査回数は各地域とも年6回）。

4 調査地域

野鳥モニターの居住地周辺で、野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、A～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定した。

ブロック	番号	地域
A	1	小台全域（河川敷含む）
	2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
	3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
	4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
	5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
	6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
	7	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
	8	宮城全域（河川敷含む）
	9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B	10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
	11	興野二丁目、扇三丁目
	12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
	13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
	14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
	15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
	16	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
	17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



【調査地域】

Aブロック	9地域
Bブロック	8地域
Cブロック	5地域
Dブロック	8地域
Eブロック	10地域

ブロック	番号	地域
C	18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
	19	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
	20	舎人公園
	21	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
	22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
D	23	梅島一～三丁目
	24	花畑六～八丁目
	25	島根全域
	26	西綾瀬全域
	27	西保木間一～三丁目
	28	花畑三～五丁目
	29	保木間一～三丁目
	30	保木間四～五丁目
E	31	大谷田一丁目
	32	大谷田二（中川含む）～五丁目
	33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
	34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
	35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
	36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（堀川、中川含む）
	37	神明南一・二丁目、北加平町
	38	東和全域・谷中公園
	39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
	40	東綾瀬公園

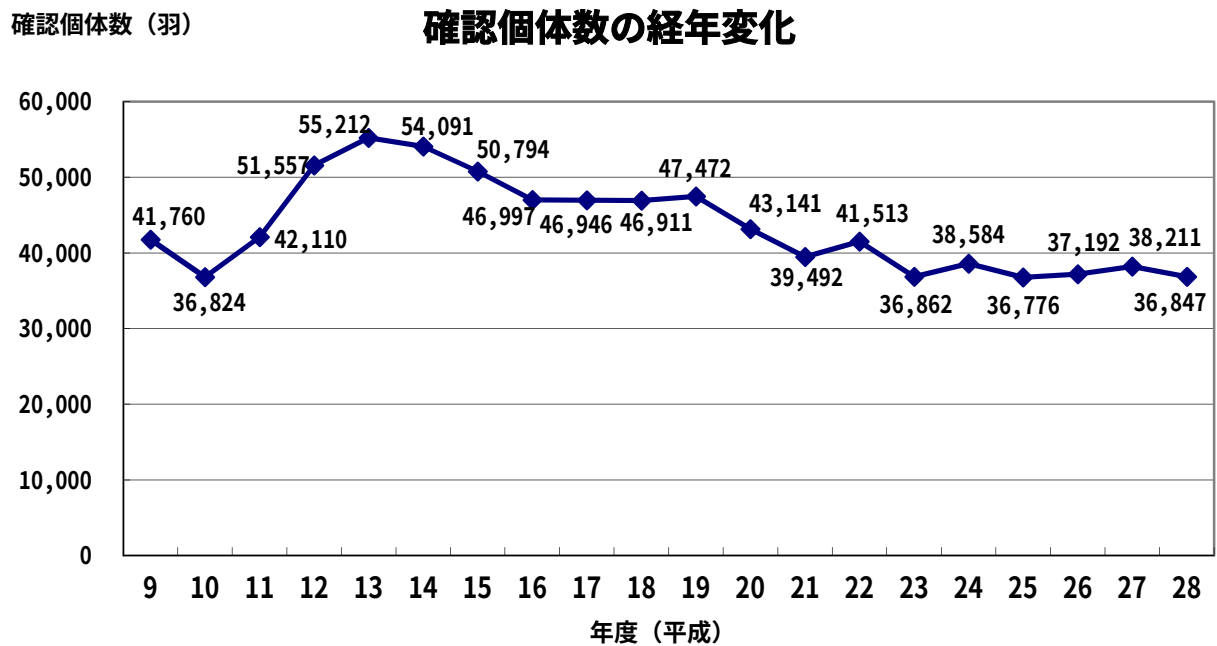
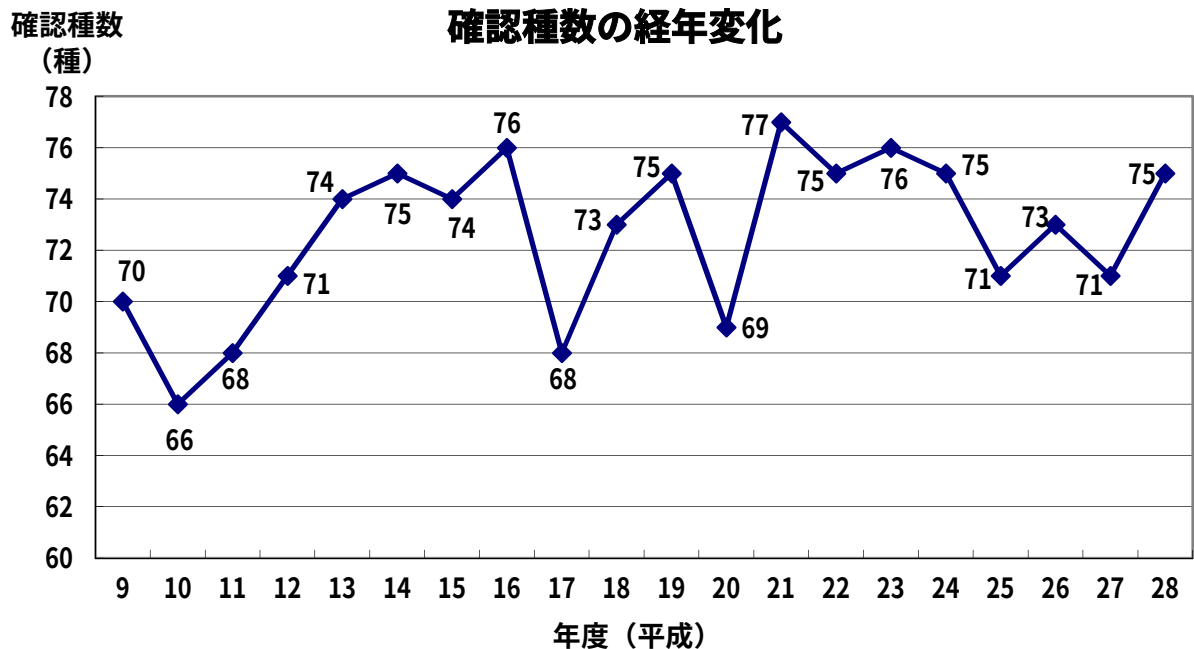
平成28年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成28年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40	40

Ⅱ 調査結果

1 年間確認種数と個体数

平成28年度の調査で確認された野鳥は、75種、延べ36,847羽であった。



※経年変化は過去20年分

N0	目名	科名	種名	合計	N0	目名	科名	種名	合計
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	923	41	スズメ	モズ	モズ	83
2			カルガモ	563	42		カラス	オナガ	798
3			ハシビロガモ	2	43			ハシボソガラス	946
4			オナガガモ	279	44			ハシブトガラス	1,097
5			コガモ	224	45		シジュウカラ	シジュウカラ	612
6			ホシハジロ	172	46		ヒバリ	ヒバリ	24
7			キンクロハジロ	176	47		ツバメ	ツバメ	476
8			スズガモ	1	48			イワツバメ	28
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	6	49		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,734
10			カンムリカイツブリ	25	50		ウグイス	ウグイス	21
11	ハト	ハト	キジバト	710	51		メジロ	メジロ	477
12	カツオドリ	ウ	カワウ	627	52		ヨシキリ	オオヨシキリ	70
13	ペリカン	サギ	ゴイサギ	12	53		セッカ	セッカ	18
14			アオサギ	93	54		ムクドリ	ムクドリ	7,332
15			ダイサギ	44	55			コムクドリ	30
16			チュウサギ	1	56		ヒタキ	シロハラ	6
17			コサギ	81	57			アカハラ	3
18	ツル	クイナ	クイナ	2	58			ツグミ	591
19			バン	25	59			ジョウビタキ	61
20			オオバン	679	60			イソヒヨドリ	5
21	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	4	61			エゾビタキ	1
22	チドリ	チドリ	イカルチドリ	8	62			コサメビタキ	1
23			コチドリ	2	63			キビタキ	2
24		セイタカシギ	セイタカシギ	2	64		スズメ	スズメ	13,013
25		シギ	タシギ	2	65		セキレイ	ハクセキレイ	447
26			チュウシャクシギ	3	66			セグロセキレイ	7
27			イソシギ	80	67			タヒバリ	17
28			ハマシギ	1	68		アトリ	アトリ	149
29		カモメ	ユリカモメ	1,825	69			カワラヒワ	836
30			ウミネコ	20	70			ベニマシコ	7
31			カモメ	1	71			シメ	9
32			セグロカモメ	54	72		ホオジロ	ホオジロ	13
33			オオセグロカモメ	3	73			カシラダカ	2
34			コアジサシ	25	74			アオジ	48
35	タカ	タカ	ツミ	4	75			オオジュリン	102
36			オオタカ	1				カモ S P	18
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	10			種名特定できず	カモメ S P	14
38		キツツキ	コゲラ	22				カラス S P	22
39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	11				ヒタキ S P	1
40			ハヤブサ	3					
確認種個体数合計（羽）									36,847

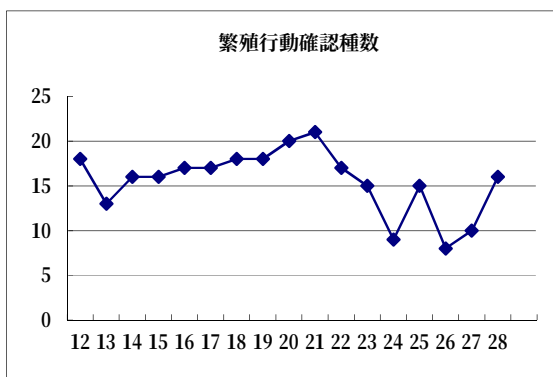
※ S P…種名まで特定できなかったもの

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

平成28年度に営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、17種であった。

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1	アオサギ			○														
2	イソシギ		○								○							
3	イワツバメ	○					○	○	○	○	○	○						
4	ウグイス				○													
5	オオヨシキリ		○		○	○		○	○	○	○				○			
6	オナガ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	カイツブリ										○						○	
8	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
9	カワセミ	○										○						
10	カワラヒワ	○		○		○	○			○	○		●					●
11	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
12	コアジサシ					○		○							○			○
13	ゴイサギ	○	○	○	○		○		○	○	○	○	●					●
14	コゲラ				○					○			●					
15	コサギ			○			○				○	○						
16	コチドリ	○				○			○			○	○					
17	ササゴイ						○	○	○		○							
18	シジュウカラ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
19	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	セッカ	○	○															
21	チュウシャクシギ																	●
22	チョウゲンボウ	○				○		○		○								
23	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	ツミ														○			○
25	ハクセキレイ	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○			●
26	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
27	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
28	バン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		●
29	ヒバリ						○			○		○			○			
30	ヒメアマツバメ							○	○									
31	ヒヨドリ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
32	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	メジロ									○	○							
34	モズ																	
年度合計		18	13	16	16	17	17	18	18	20	21	17	15	9	15	8	10	16



※「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの

※平成26年度までは調査日に限り確認された種を計上（調査日以外を含めれば繁殖をしている種はもっと多いと予想）

平成27年度報告書からは調査日以外（過去含む）でも確認したものは掲載

※種名の網掛けは平成28年度に繁殖行動が確認された種

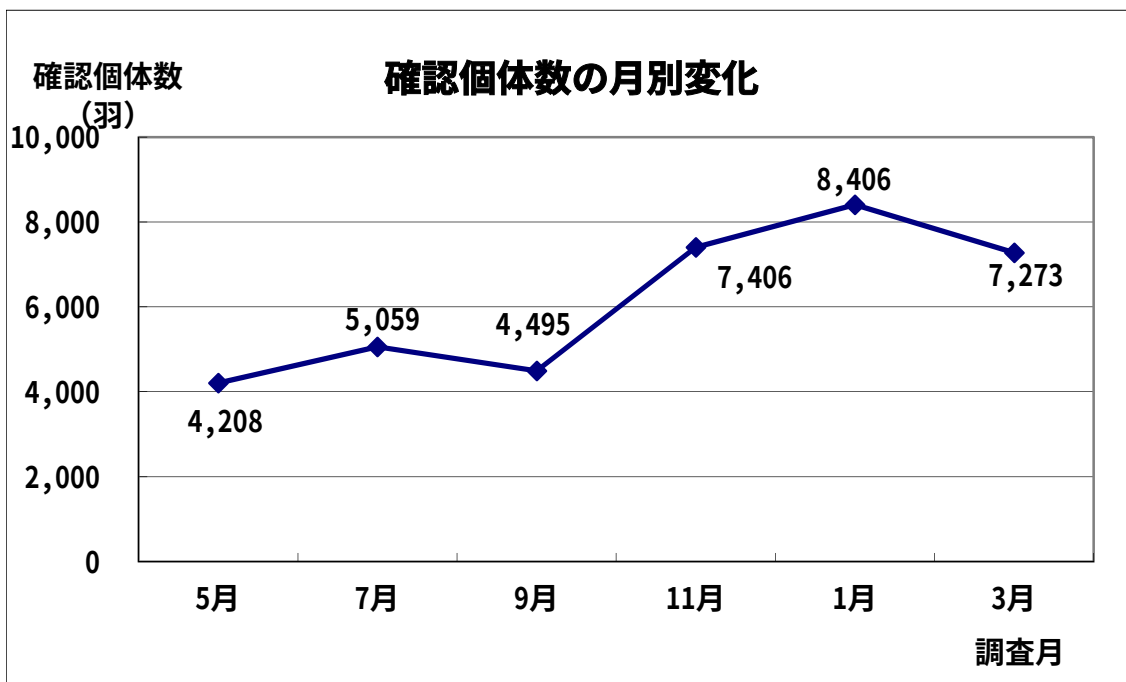
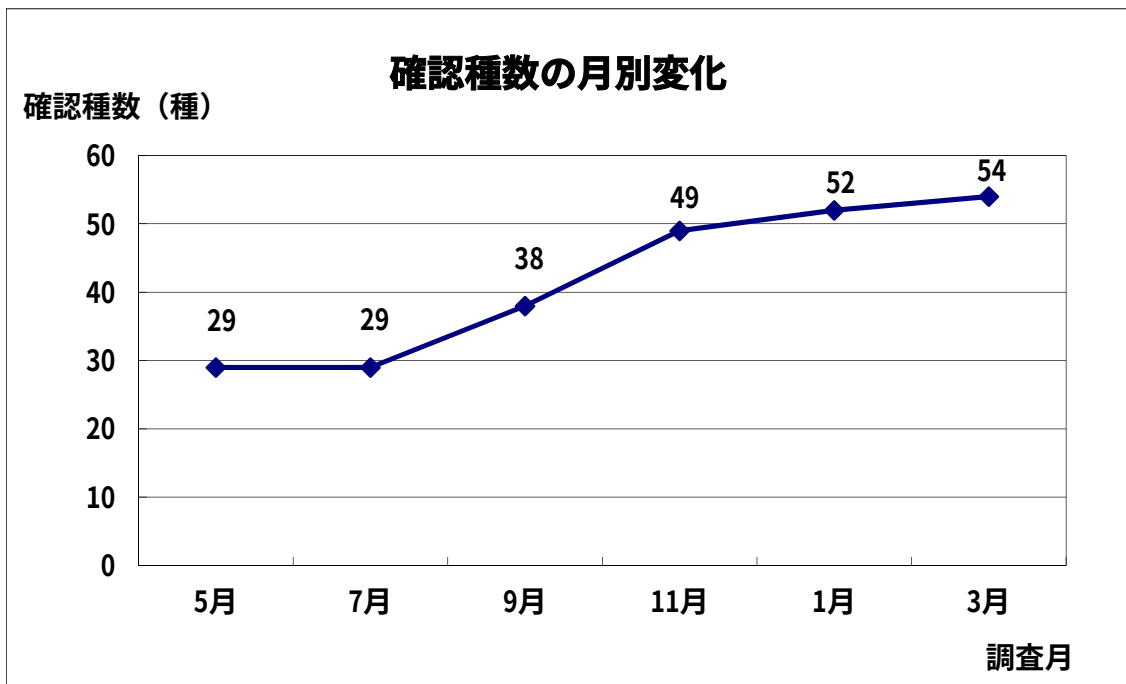
※●＝幼鳥のみ

※H13年～15年に計上されていたコムクドリは、H26年報告書から削除

3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

平成28年度はなし。

4 調査月別確認種数と確認個体数



5 確認個体数ベスト10及び経年変化

(1) 調査月別 確認個体数ベスト10

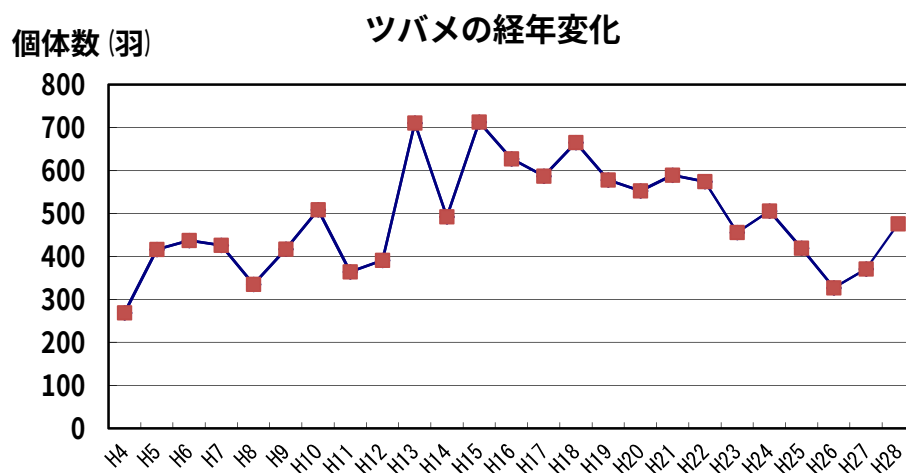
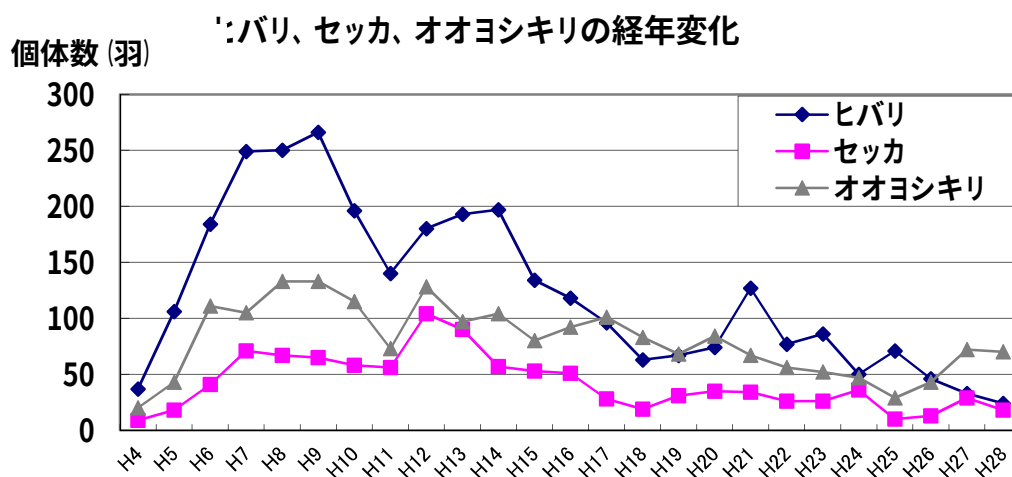
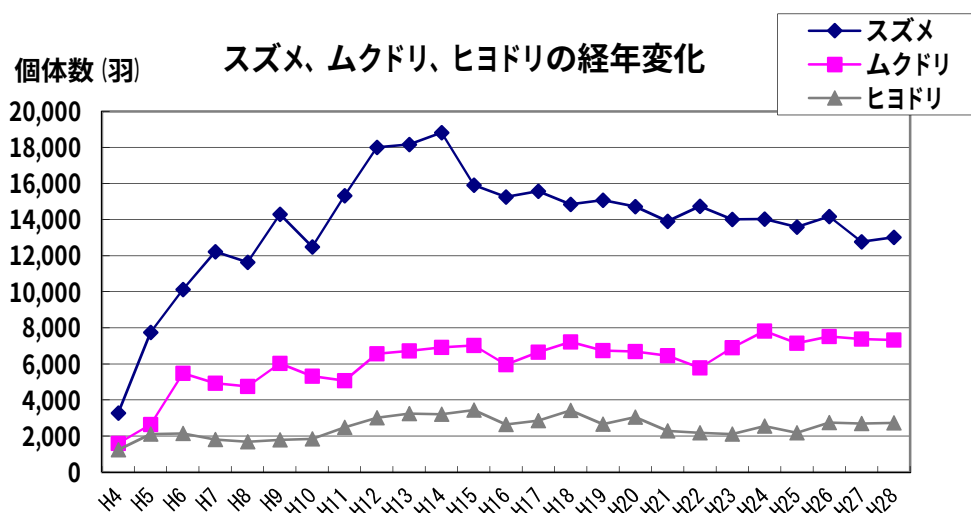
順位	5月	7月	9月	11月	1月	3月
1	スズメ 1,737	スズメ 1,964	スズメ 2,181	スズメ 2,442	スズメ 2,384	スズメ 2,305
2	ムクドリ 1,103	ムクドリ 1,773	ムクドリ 1,157	ムクドリ 1,300	ユリカモメ 1,078	ムクドリ 922
3	ツバメ 161	ツバメ 284	ハシブトガラス 158	ヒヨドリ 1,214	ムクドリ 1,077	ヒヨドリ 496
4	オナガ 143	ハシブトガラス 178	ヒヨドリ 149	ユリカモメ 320	ヒヨドリ 655	ユリカモメ 425
5	ハシブトガラス 137	オナガ 144	ハシボソガラス 143	ハシブトガラス 206	ヒドリガモ 341	ヒドリガモ 412
6	ハシボソガラス 134	ハシボソガラス 123	シジュウカラ 122	ヒドリガモ 170	オオバン 278	ツグミ 297
7	ヒヨドリ 115	ヒヨドリ 105	オナガ 106	ハシボソガラス 165	カワラヒワ 271	オオバン 283
8	キジバト 107	キジバト 98	キジバト 97	オナガ 163	ツグミ 262	カワラヒワ 275
9	シジュウカラ 99	カルガモ 87	カワウ 63	メジロ 149	メジロ 223	ハシブトガラス 207
10	カワラヒワ 87	カワラヒワ 67	カルガモ 46	ハクセキレイ 140	ハシブトガラス 211	ハシボソガラス 205

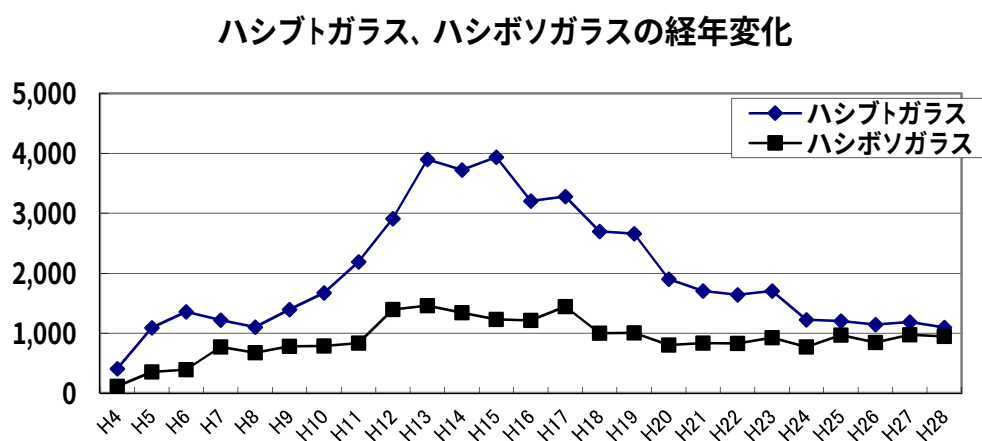
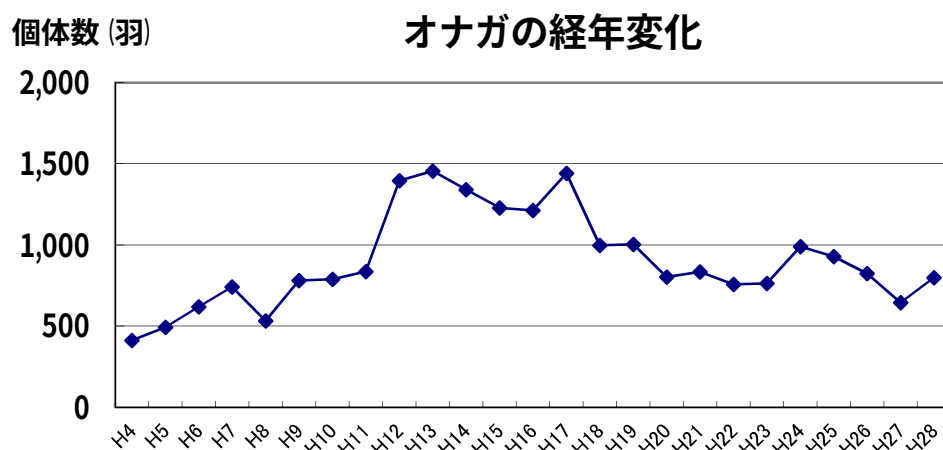
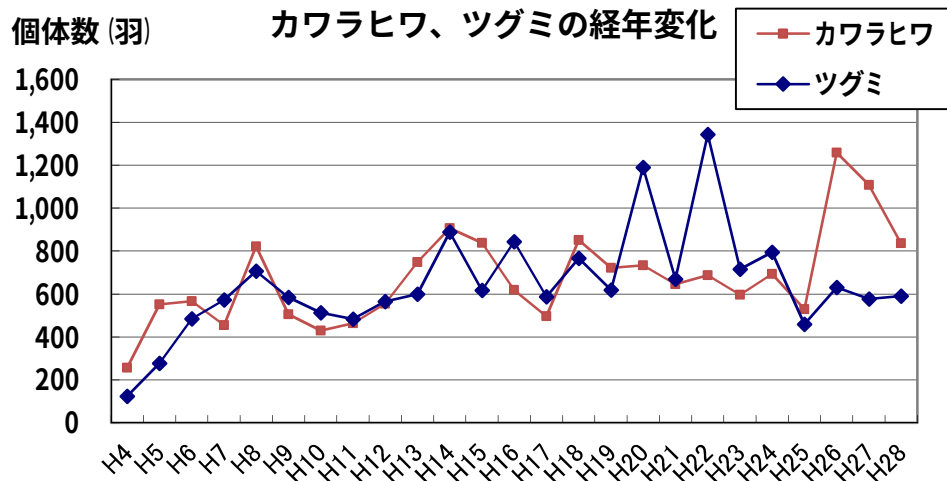
(2) 確認個体数ベスト10の経年変化

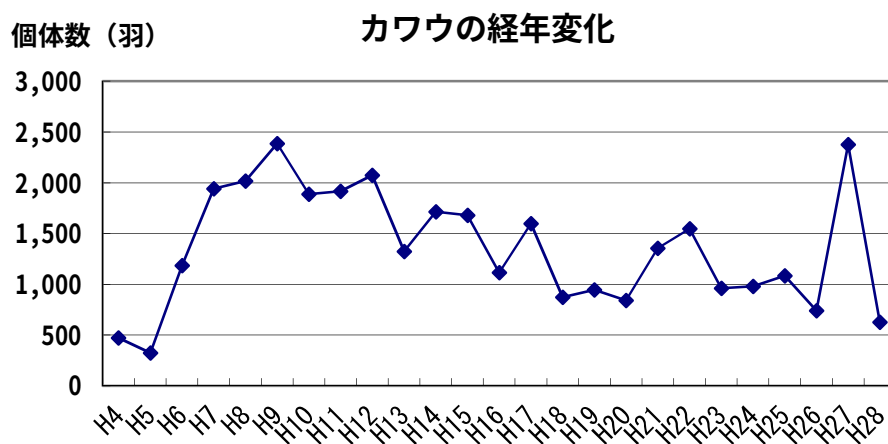
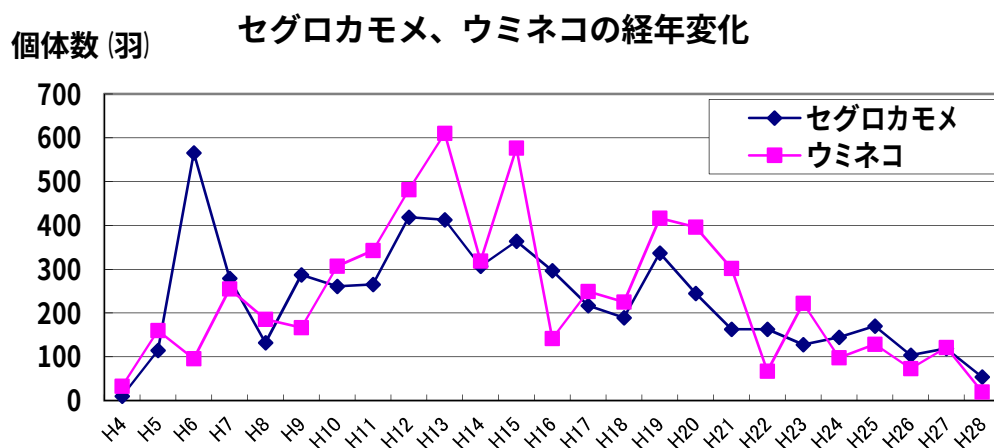
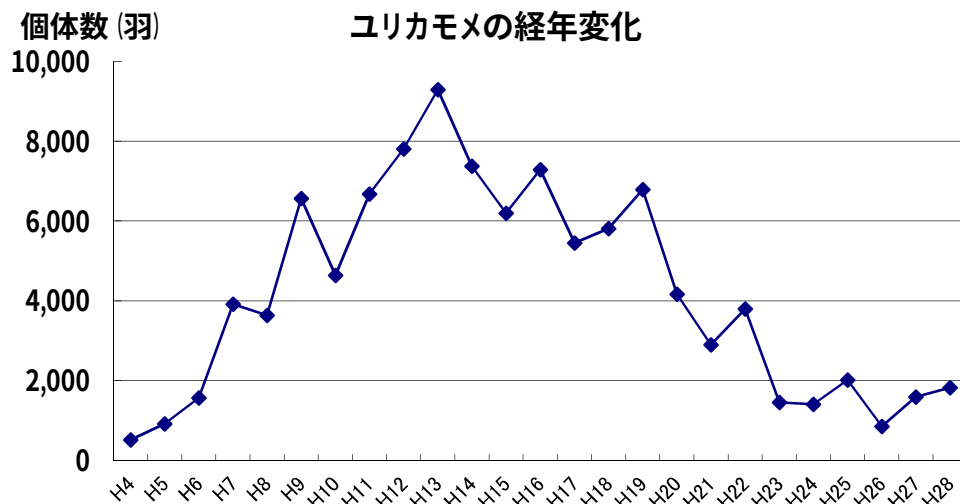
調査を開始した平成4年度から、最も確認個体数累計が多いのはスズメである。平成28年度の確認個体数ベスト10に入る種類の確認個体数累計の合計は、30,214羽で、全体の約82%に相当する。

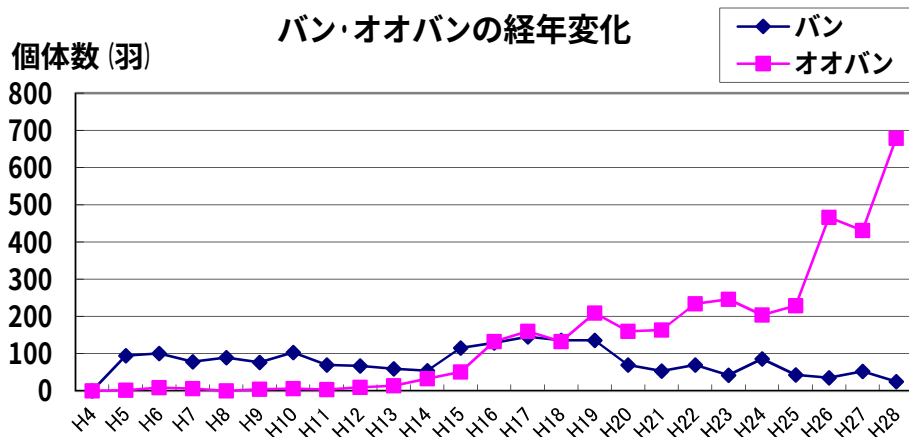
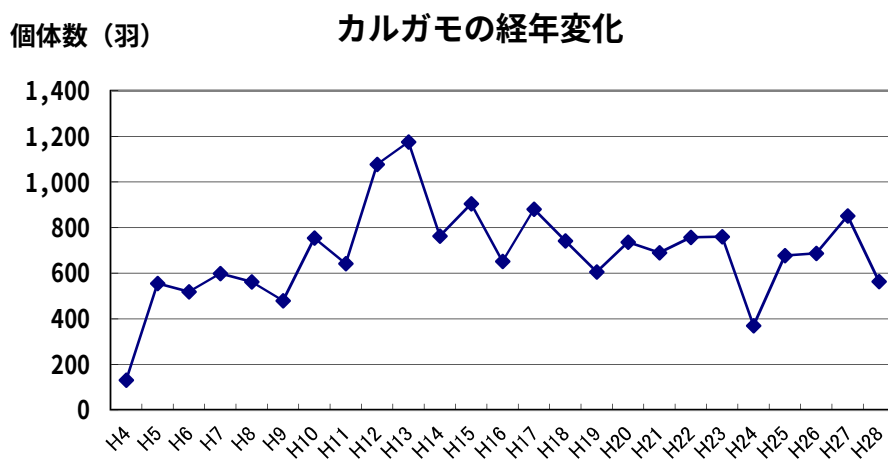
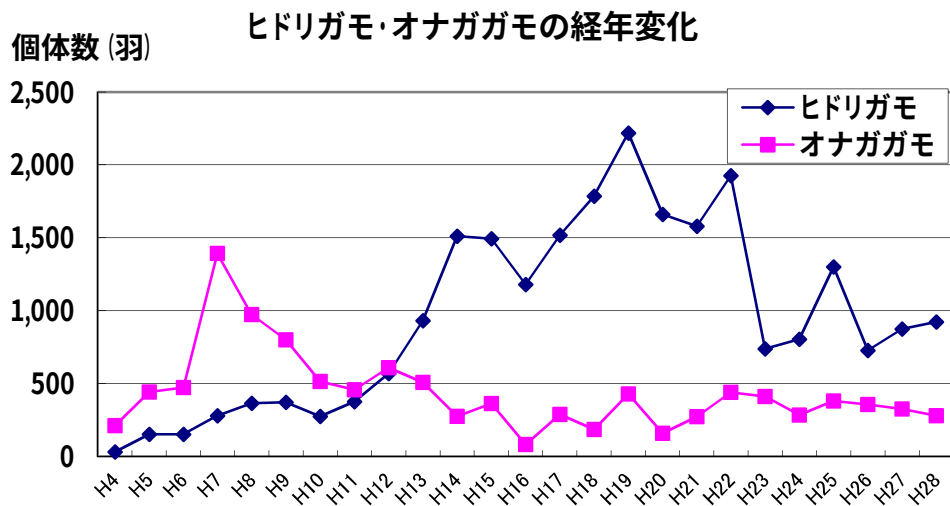
順位	種名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1	スズメ	14,028	13,580	14,173	12,779	13,013
2	ムクドリ	7,823	7,156	7,527	7,382	7,332
3	ヒヨドリ	2,597	2,173	2,742	2,689	2,734
4	ユリカモメ	1,424	2,010	848	1,588	1,825
5	ハシブトガラス	1,223	1,203	1,146	1,184	1,097
6	ハシボソガラス	912	965	842	975	946
7	ヒドリガモ	805	1,301	727	875	923
8	カワラヒワ	693	529	1,258	1,108	836
9	オナガ	990	929	824	644	798
10	キジバト	693	628	615	739	710
	合計	31,188	30,474	30,702	29,963	30,214

(3) 主な種の経年変化









III 平成28年度 野鳥モニターによる 観察・繁殖行動記録

目次

平成28年5月観察記録	15
平成28年5月繁殖行動確認	20
平成28年6月繁殖行動確認	22
平成28年7月観察記録	23
平成28年7月繁殖行動確認	28
平成28年9月観察記録	29
平成28年11月観察記録	34
平成29年1月観察記録	39
平成29年3月観察記録	44
平成29年3月繁殖行動確認	49

平成28年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
1	オオヨシキリ ツバメ	・17種観察。 ・今年の夏鳥はオオヨシキリ、ツバメのみ。コアジサシがいないのはさびしい。	Aブロック
3		・今日は荒川の川岸の川底がかなり露出していたので、水生生物を狙う鳥たちをかなり見ることができました。	Aブロック
3	ダイサギ ハシブトガラス	・中川岸辺で採餌していたダイサギ。目元がブルーに染まり、レースのような飾り羽が風に揺れて、素晴らしかった。どこで営巣しているのか。 ・公園のイチョウの木に営巣していたハシブトガラス。巣材はほとんどがハンガーだった。 ・4月17日、中川で6羽のコアジサシを確認。今年も来てくれて嬉しい。 ・5月2日、対岸の草原（葛飾側）からオオヨシキリの声が聞こえていた。	Eブロック
3	キアシシギ メダイチドリ	・西新井橋と扇大橋の中間位の木工沈床にキアシシギとメダイチドリ、その下の干潟状になった砂地でメダイチドリが採食していた。私に気付いて、対岸の木工沈床の方に飛び去って行った。	Bブロック
6	スズメ ムクドリ オオヨシキリ	・天気うす曇り、北の風、風力1。 ・河川敷に桑の木があり、実が赤く色づいていた。 ・スズメが巣材をくわえていたのは枯草。 ・ムクドリが巣材をくわえていたのは枯草。 ・対岸（荒川左岸）の湾処からオオヨシキリのさえずりが聞こえていた。	Aブロック
6	ツバメ	・少しはコガモが残っているかと期待しましたが目に入らず。にぎやかだった相撲部屋前の川も淋しくなりました。 ・昨年も思ったことですが、ツバメを確認できたのは調査の後半。活動時間は遅いのでしょうか。	Cブロック
7	ムクドリ ハシブトガラス ダイサギ キジバト ヒヨドリ	・6時に出発。途端に雨、西に青空が見えるので少し待つ。10分程で止んだので出発。南風やや強い。ムクドリのペアでいるもの目立つ。 ・6時半過ぎには北の空、7時10分には上空も晴れ。 ・終了近く、東和二丁目上空で、ハシブトガラスがダイサギを追い回しているのを見る。巣のそばを通りかかってしまったらしい。2～3分上空を旋回する感じだったが、サギが南西の方へ逃げるように去ると、カラスは、高圧線に止まり30秒ほど休憩？サギの行方を確認していたのかも？ ・姿の見えぬキジバト（数外）の声を聞きつつ終了しようとしたところ、ヒヨドリの声。チャボヒバの木の手前で暫く囀っていた。 ・8時10分丁度終了。	Eブロック

平成28年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
7	カルガモ バン ツバメ アイガモ	・若葉から青葉へ。昨夜の雨が草木を一層美しくしています。大型連休も終盤の調査です。公園には連日大勢の人が訪れにぎわっています。このにぎわいに、人間になれていない野鳥は、この公園を離れてしまったようです。なじみの野鳥しか見当たりません。調査日としては適当ではなかったと思いますが、これも人間社会の環境の中での出来事であると思い、再調査せず報告します。 ・大池に、ヒナをつれて動くカルガモの家族が2組、バンが1組いました。カイツブリやオオヨシキリの鳴き声、姿は見えません。ツバメの数も少なく感じました。 ・アイガモの親が18羽のヒナをつれて行動する姿は、幼稚園の遠足のようなようです。また、3月にかえったヒナはもう親と同じ大きさになっていました。	Cブロック
8	コアジサシ ツバメ	・中川にコアジサシ、ツバメが帰って来ました。 ・昨年、ツバメが巣を作っていた所に、今年も巣が作られています。今年こそ上手く巣立ってほしいです。 ・大がかりな工事が入っているためか、全体に鳥の数が少なく感じました。	Eブロック
8	スズメ	・街路樹のハナミズキの若葉が目にしみます。ベルモント公園の各種のバラも咲き誇っていますが、鳥の数、種類共に少ないです。 ・スズメ達は元気なのに、例年楽しませてくれるオナガには会えませんでした。	Dブロック
8	ツバメ	・ツバメは今日9羽を確認したが、巣に出入りしていたのは六木3丁目T宅だけだった。しかし3羽が出入りしている様だが、まだ抱卵はしていないらしい。	Eブロック
8	カルガモ	・ツツジをはじめ春の花々が爛漫として調査には最高の時ですが、肝心の鳥が少なくて残念。 ・カルガモの幼鳥は今まで見たこともない位に小さくて、親鳥に必死についていく様子がかわいかった。	Cブロック
8		・今朝は鳥の姿も声も少なく、例年ムクドリやスズメが営巣している家の軒先や戸袋も出入りが見られなかった。 ・以前コミュニティセンター脇の水路で見かけたナマズを久しぶりに見つけた。	Dブロック
9	ハシブトガラス	・江北橋と扇大橋の中間にある送電線の鉄塔に新しくカラスの巣が出来ていて、モニター時に種別を確認できませんでしたが、後日ハシブトガラスである事を確認しました。	Bブロック
12	ムクドリ	・快晴。気持ちよく晴れ上がったが、鳥影薄く、かえて不気味。ムクドリの天国。	Bブロック

平成28年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
12	ハシブトガラス スズメ	・愛鳥週間3日目、昨日まで風が強く小雨も降ったが、天気予報では今日から好天が続く。 ・これまで引き継ぎを受けたコースを昼間帯に下見をしました。その時と比べ鳥の姿、声は少ない。 ・ハシブトガラスを雪見公園で確認、ゆっくりと歩きながら巣を探しましたが見当たりませんでした。公園から花畑川方向の道路へ出たところ、被っている帽子の上にハシブトガラスの体当たりを1回受けた。カラスの頭の良さと野鳥観察の厳しさです。 ・神明南二丁目の路上を歩いていると電線上で複数のスズメが鳴き、電車区、電柱上の四角い金属管からスズメが顔を出した。スズメの営巣です。	Eブロック
13	ハシブトガラス オナガ	・公園の木で、近づくハシブトガラスをオナガが威嚇をしていた。巣等の確認はできなかった。	Bブロック
13	ムクドリ	・柳原二丁目で、ムクドリが戸袋に入り、すぐに出た後、複数のヒナの鳴き声がした。餌を運んでいたのでしょうか。数年前、同じ場所でも確認。	Aブロック
13	オナガガモ	・右翼の壊れたオナガガモ1羽残されている。昨年と同じ鴨かも。下がっている翼を口ばしで手入れしていた。健気だ。治してあげられないのでしょうか。	Eブロック
14	スズメ タシギ オオヨシキリ	・スズメは子育て真っ最中です。アチラコチラから親の声、雛の音が聞こえます。 ・干潟は冬の間優勢だったオオパンの姿がなく、その代わり渡り途中のシギの姿が多く見られました。特にタシギは意外でした。 ・また数年前から姿が少なかったオオヨシキリが今年は多く見られて嬉しかったです。	Aブロック
14	スズメ ムクドリ	・爽やかな朝です。久しぶりにスズメ達を多く見られてホッとしました。 ・ムクドリは野原に多く集まり、虫のようなものをくわえては忙しそうに飛んでいき、その繰り返しでした。すぐそばの高速道路にも運んでいました。 ・セッカは声のみ、姿は見ませんでした。	Bブロック
15	スズメ	・緑が少なく、河川は「カミソリ土手」のため、鳥が少ないエリアだと思う。 ・公園の砂場でスズメが砂遊びをしていた。	Eブロック
15		・河川敷でのオオヨシキリが確認できず。	Bブロック
15		・初夏を迎えて、野鳥の数・個体数は少ない。	Dブロック

平成28年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
15	シジュウカラ	・快晴、薫風さわやかな気象条件ですが、種数・個体数とも少なかった。 ・シジュウカラのさえずりが目立った。 ・秋の冬鳥の渡りまで野鳥の少ない時期となるが、さびしい。	Dブロック
16	ハシブトガラス オナガ	・どの種もかなりの割合でペアが形成されているようだ。ハシブトガラスが抱卵しているのも確認した。 ・オナガは巣材を運んでいた。オナガは群れで行動するしヘルパーも存在するので奇数構成の群れもあるのだろう。	Aブロック
20	スズメ ムクドリ	・繁殖期になり巣材をくわえて飛ぶスズメ、ムクドリを目にするようになった。	Aブロック
20	スズメ	・スズメが住宅街に多数いた。確認できていないが、中には幼鳥も混じっていると思われる。	Bブロック
21	オオヨシキリ ツバメ	・今年もオオヨシキリが鳴いている季節になりました。昨年より数が少ない様に思います。昨年大変多く見られた扇大橋上流の葦の生息が良くないのがその原因かと思っています。 ・また、ツバメの数が極めて少ないのは気になります。	Aブロック
22	ハシボソガラス オナガ シジュウカラ	・ハシボソガラス（楠木）、オナガ（桜）の巣を発見したが、ヒナは確認できず。 ・ガードレールの支柱の中に忙しくエサ（幼虫）を運ぶシジュウカラ、そして中からはせわしく鳴くヒナの声が聞こえてくるが、残念ながら中は真っ暗で撮影はできず、数の確認もできなかった。	Dブロック
22	ムクドリ スズメ オオヨシキリ	・ムクドリ、スズメの幼鳥が多く見られました。 ・オオヨシキリのバトル、縄張り争いでしょうか、初見です。	Bブロック
23	ツバメ スズメ	・数日来、高温が続いており5時台から空気がよどんで湿気を感じました。野鳥の数は少なく、ツバメは予想に反してほとんど見られませんでした。 ・千住緑町や墨堤通りの電柱付近のプラスチックカバー内部に入るスズメが見られました。営巣しているのだと思います。	Aブロック
24	オナガ	・昨日に続いて最高気温が30℃を超える暑さとなったが、朝方は思ったより涼しく感じた。しかし、日差しは暑く、歩くと汗の出る観察調査でした。 ・5月5日の下見と同じく、思ったよりもカラスは少なかったが、カラス科のオナガの行動がとても荒っぽかった。 ・ナミアゲハ、モンシロチョウ、アオスジアゲハなど昆虫も元気に飛んでいた。	Eブロック
26	ムクドリ スズメ ツバメ	・随所でムクドリの営巣を認め（50カ所を確認）、親鳥が忙しく餌を運ぶのと、餌をねだるヒナの声を聞いた。 ・スズメも電柱のトランスの下側からトランスボックスにもぐり込むのが見られ、育雛の様子。 ・ツバメは2公園の上で飛翔を認めたほか、交差点の電線に2羽がとまっているのを見たが、営巣の場所は確認できなかった。	Dブロック

平成28年5月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
28	ツミ ムクドリ	・ 神社で初めて猛禽を見つけました。2羽のツミがワカケホンセイインコの雛を捕食しておりました。もう1羽は巣材を咥えて飛んでいました。 ・ ツミの巣も見つけ、このまま何もなければ雛も見られるかもしれません。このまま騒がず見守りたいと思います。 ・ また、神社隣接の民家ではムクドリの雛の声も聞こえました。	Cブロック
29	シジュウカラ	・ シジュウカラがしきりにさえずっていた。 ・ 中川以外（調査区域外）で、ツバメが多くみられた。	Eブロック
29		・ 全体として種類、数ともに少ないようでした。カラスの数も少し減ったように思います。	Dブロック

平成28年5月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
3	ツバメ	大谷田四丁目	ガレージの中、営巣抱卵。	Eブロック
3	ハシブトガラス	大谷田三丁目・児童遊園	イチョウの木に営巣抱卵。	Eブロック
3	スズメ	大谷田二丁目～五丁目	変圧器の中。5カ所。	Eブロック
3	スズメ	大谷田五丁目	郷土博物館、屋根のひさしの隙間多数。	Eブロック
7	オナガ	病院北側	ペアのうち1羽が、ヒマラヤスギの木の中に巣材を運んでいた。	Eブロック
7	キジバト	谷中公園	草地と銀杏の木を往復して、2羽で小枝を運んでいた。	Eブロック
7	ハシブトガラス	東和五丁目公園そば	洗濯バサミを咥え、落としていった。巣材に使おうとしたらしい。	Eブロック
7	カルガモ	舎人公園大池	大池にヒナをつれて親と一緒に。	Cブロック
7	バン	舎人公園大池	大池にヒナをつれて親と一緒に。	Cブロック
8	スズメ	梅島一丁目民家	餌を運ぶ親鳥、ヒナの鳴き声。	Dブロック
8	ツバメ	五反野駅近くの店舗2階に昇る階段上方	巣に親が入っている。	Dブロック
13	スズメ	電柱のボックス	4カ所でヒナの鳴き声を確認。	Bブロック
13	ムクドリ	柳原二丁目	戸袋に入りヒナの鳴き声を聞く。	Aブロック
14	スズメ	住宅地のあちこちで	巣立ち前のヒナの声。	Aブロック
14	ムクドリ	千住元町	親鳥が餌をくわえて飛び回っている。	Aブロック
15	カルガモ	東綾瀬公園の池	午後3時過ぎ頃10羽が孵った。	Eブロック
16	ハシブトガラス	関屋公園	抱卵中。	Aブロック
16	オナガ	千住曙町公園	巣材搬入。	Aブロック
16	スズメ	関屋公園	相互毛繕い・擬似交尾。	Aブロック

平成28年5月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
20	スズメ	江南公園	口元の黄色い幼鳥が親にかけより、餌をもらっていた。	Aブロック
20	スズメ	梅田五丁目、関原二丁目	電柱の機械の中に巣があり、ヒナの声が聞こえる。巣を5か所で確認。	Bブロック
20	スズメ	梅田五丁目の公園	親が巣立ちした幼鳥にエサを与える。	Bブロック
22	シジュウカラ	花畑五丁目(公園前の歩道ガードレール)	ガードレールの支柱の中でエサをねだって鳴くヒナの声とエサを運ぶ親鳥。	Dブロック
26	ムクドリ	工場の屋根、民家の戸袋	親鳥の頻繁な出入り、ヒナの鳴き声。	Dブロック
26	スズメ	電柱のトランス下	餌をくわえた親鳥の出入り。	Dブロック
26	コアジサシ	中川公園土づくりの里	積まれた土の上面に10カ所ほど巣を作っているのが見えた。	Eブロック

平成28年6月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
4	カルガモ	東綾瀬公園・池	10羽の孵化したばかりのヒナを連れていた。	Eブロック
12	スズメ	ひさしのすき間	親の給餌。ヒナの顔が見える。	Aブロック
25	ムクドリ	戸袋	親の給餌。早朝からヒナの声にぎやか。	Aブロック
26	ムクドリ	戸袋	ヒナの声なく、取り壊された巣が散らばっていた。	Aブロック
28	ツバメ	六木三丁目	親2羽とヒナ3羽が電線に。	Eブロック
28	ツバメ	六木三丁目	2回目の抱卵をしているらしい。	Eブロック
28	ツバメ	神明三丁目	巣から3羽のヒナが顔を出す。	Eブロック

平成28年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
2	ハシブトガラス ハシボソガラス カルガモ ダイサギ	・6時20分頃から霧雨が降り出し、少し心配したが続行。今日は、ペアや小さな群れが多かった。ハシブト・ハシボソガラスは共に、幼鳥が多い気がした。子育て中か。 ・西沼公園でカルガモ親子を見る。5羽のうち1羽が中間の大きさだったのは早めに孵ったものか？不明。3羽は暫くクローバーの葉を食べていたが、終わると一旦池の中に入りすぐに岸に上がり、5羽揃って草の上で昼寝を始めた。写真を撮って移動。 ・帰り、前回と同じ辺りで、ダイサギが上空を通るのを見る。前回見た時カラスに追われていたものと同じかもしれない。あるいは、今日のはアオサギかも知れない（雲のせいかな、陰で黒っぽく見えたので）。雨はいつの間に止んで、8時5分、大分高くなった太陽が薄い雲の間から顔を出す。暑さを感じながら終了。	Eブロック
2	オナガ ムクドリ	・伝右川から花畑八丁目はオナガをよく見かける。 ・桑袋地域集会所となりの公園はムクドリのたまり場になっている。	Dブロック
2	スズメ ムクドリ カワセミ	・本日は17種観察。 ・市街地ではスズメ（79羽）、河川敷ではムクドリ（130羽）が多く観察された。 ・久しぶりにカワセミが出現した。	Aブロック
8	オナガ	・オナガは最近わが家の軒先にまで来るようになった。	Cブロック
9	ツバメ	・予定していた調査日は雨降りになりましたが、小雨でしたので決行してみました。公園には散歩の人も少なく、鳥達は自由に餌を取りに動き回れるだろうと思っていましたが、雨降りに鳥も姿を見せません。種類も個体数も少なく、調査には適さないと思いました。 ・雨降りにはツバメがよく似合います。林の中やその近くを、ツバメ返しをしながら飛び回っていますが、5羽のツバメが公園のソリゲレンデの人工芝の中で羽を休めています。よく見ると、巣立って間もない幼鳥でした。長く飛び続けるのは、まだ大変なんだろうと思いました。	Cブロック
10		・今日は朝から晴れ上がり昨日の雨の湿気も残っていて、蒸し暑い中での観察になりました。 ・野鳥の子育ても一段落したようで町は静かでした。観察中一度もツバメを見なかったことも残念でした。 ・荒川は満潮で、西新井橋上流の波除の蛇籠の上にサギが下りていて羽繕いに忙しかったです。	Aブロック
10	スズメ ムクドリ ハシブトガラス	・鳥の姿が少ない。スズメ・ムクドリは地面で採餌していてかなり近くに行くまで逃げない。巣立ちビナが多数混じっているのだろう。 ・氷川神社でハシブトガラスから威嚇（低い枝にとまって私に向かって強く鳴き続ける）を受けた。主に威嚇するのは2羽で、別の枝に1羽いて口の中が赤かった。巣立ちビナだ。これを守るためなのだろう。	Aブロック

平成28年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
10	スズメ	・ 高く伸びた草原の前に、巣立ったばかりかと思われるスズメ達の姿が目立ちました。親子のスズメもいて、とても可愛らしかったです。 ・ ハシブト、ハシボソガラスの姿を見られなかったのは今回が初めてです。ハシブトガラスの声は聞くことができました。セッカの声も聞こえてきました。	Bブロック
10	ツバメ	・ この地区においては、普段見られないツバメ2羽を観察できました。巣は発見することができませんでした。	Dブロック
11	オナガ ハシブトガラス ツバメ	・ 快晴、北西の風、風力1。 ・ 今日は清亮寺の正門が閉まっていた中に入れなかった。いつもは中に入って観察できた。 ・ オナガがハシブトガラスを追い払っていた。 ・ 本日ドバト60羽、鉄橋のところで6羽固まって、交尾していた。 ・ 対岸からオオヨシキリのsong。 ・ 今日は虫のジーッという鳴き声が聞こえるくらいで、本当に静かだった。水鳥も見られず、ツバメもかろうじて2羽確認しただけ。「沈黙の夏」なのかな？	Aブロック
11	ツバメ	・ にぎやかな声がすると思ったら電線に子ツバメが2羽留まっていた、親が餌を運んでいた。また給餌に来るか待ちましたが、見せつけるように飛ぶだけで子ツバメもあきらめて飛び去りました。	Cブロック
12	ヒヨドリ	・ 7月3日の予備調査ではツバメを見かけたが、本調査では見つけることができなかった。 ・ 5月の調査に比べると、ヒヨドリの発見が少なくなった。 ・ ニイニイゼミが鳴き始め、本格的な夏が近づいてきた。本調査は梅雨の中休みの3日間で実施した。雲が厚く蒸し暑い日だった。	Eブロック
12	キジバト ハシブトガラス	・ 梅雨でありながら水不足の関東、気温が上がる前にと観察を開始。5月の観察時、キジバトが家の影に入っていたのを目撃した。今月、その場所を注意してみましたの確認できず。他の場所、4カ所でキジバトを目撃出来たので、今後、営巣場所を見つけたい。 ・ 野鳥観察の厳しさを知らされたハシブトガラスの体当たり注意到しながら雪見公園内を観察した。やはりハシブトガラスが公園西側の工場屋根から付近を警戒している。北加平町6番に設置されている送電線柱の中腹にある作業用足場にカラスの巣を見つけた。暫く巣を観ていたがカラスの姿は見えない。時期的に繁殖は終わったと思われる。これからのキジバト、カラス観察が楽しみだ。	Eブロック
15	ムクドリ ツバメ	・ ムクドリばかりが賑やかだった。 ・ ツバメが2回の子育てに成功した所は、8羽の親子で賑やかに飛び交っていた。	Eブロック

平成28年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
16	ツミ オナガ ムクドリ カルガモ	・ツミ初観察。葉っぱの付いた枝をくわえているから、巣の補修か2度目の子育てか。3羽のオナガに脅されながら2羽飛び交っていた。 ・ムクドリの幼鳥。公園デビューかあちこちで餌取りの小競り合いが賑やかでした。公園は蟬穴がいっぱいあり、蟬を捕まえたムクドリを追い回すムクドリ、まあ賑やかでした。 ・カルガモの雛。6月は10羽で泳いでいたのに、7月は8羽。大きくなっても親鳥と一緒にいました。	Eブロック
16	ムクドリ スズメ	・ムクドリの幼鳥、えさのおねだりをしていた。 ・スズメの幼鳥、自身で桜の葉の周りをついばんでいる。 ・数日前より雨天、蒸し暑さの日が続く、今朝は若干気温も下がって、こもれ日の朝です。 ・拘置所脇水路は、ウシガエルの声、子どもの頃聞いたキリギリスの声、近づく猛ダッシュのアカミミガメ、コシアキトンボの縄張り争い、夏が来たなあと感じました。	Dブロック
16	スズメ ツバメ ハクセキレイ	・土手下の道路で、スズメが5cm位あるスズメガの幼虫をくわえ、地面に叩きつけていた。それをくわえ、重そうに街中へ飛び去って行った。 ・パークゴルフ場隣の野球場の上空を、9羽のツバメが飛び回っていて、ときどき地上に降りて休んでいた。ハクセキレイの幼鳥が、曲芸飛行の飛行機のように旋回しながら飛ぶツバメを追い回していた。ツバメがわざとハクセキレイのそばに止まって挑発しているようで、怒ったハクセキレイが追ってくるのをかわしながら、遊んでいるようであった。同じ行動を2回観察した。 ・土手の上空を、シロテンハナムグリが産卵のために何匹も飛び回っていた。ムクドリが、ハナムグリを地面から引きずり出しているのを過去に何度か観察したが、その種を同定できた。	Bブロック
17	ムクドリ イワツバメ	・西新井公園の広い芝の草むらの中から、ぴよこぴよこと灰黒色の頭を振りながら虫を探しているムクドリの群れに出会いました。身近で見るのは初めてです。 ・ベルモント公園の池の上、トンボを追い回すイワツバメもスマートでした。	Dブロック
17	ツバメ	・霧雨。土手の草刈後の匂いが辺りを覆う。野球の試合でグラウンドの立ち入りをとがめられる。鳥影薄く、さえずりもほとんど聞かれなかった。唯一ツバメが元気に飛び交っていた。	Bブロック
18	ヒヨドリ	・夏の時期で少ない個体数・種数でしたが、ヒヨドリ3羽確認しました。	Dブロック
18		・7種の確認で少ないが、夏の時期としてはこの程度と思われる。ヒヨドリが確認されなかった。 ・野鳥とは別の生きものとして、人為的な飼育固体の脱出種と思われるインコ（鳥）、アカボシゴマダラ（蝶）を確認した。	Dブロック

平成28年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
19	カルガモ ヒバリ	・柳原千草園の小さな池にカルガモ2羽久しぶりの飛来。散歩に来ている人たちに聞くと、「だいぶ前から来ていますよ」とのことでした。 ・ヒバリが河川敷で囀りながら高く上がっていき、下降し地面についたら別のヒバリが近くに寄ってきた。	Aブロック
22	ツバメ	・子ツバメ3羽が、ときどき地面に降りて、羽を振るわせながら親から餌を貰っていた。	Aブロック
23	ツバメ ハクセキレイ	・涼しい朝です。中川の土手にはツバメが群れて飛んでいます。若鳥が巣立ったのでしょうか。 ・ハクセキレイも2羽は幼鳥でした。	Eブロック
23	オオヨシキリ ツバメ ハシブトガラス オナガ	・このところ天候に恵まれず、土曜日の調査になってしまいました。曇り空で気温も低く、その割には鳥に会うことができました。 ・5月にはあれほど多かったオオヨシキリは2羽残っていました。その葦原の上をスレスレに多数のツバメが見られたのは幸運でした。ハシブトガラスやオナガは親子連れでヒナがあまえている姿が多く見られました。	Aブロック
23	ツバメ	・曇天、半袖では肌寒く汗もあまり出ませんでした。途中晴れ間がのぞきましたが、風も出て夏とは思えない気候でした。野鳥は少なかったものの、この春生まれた幼鳥と親の組み合わせが観察できました。 ・ツバメが少数の群れで飛び回っていました。帰路通過した荒川河川敷でも同様でした。	Aブロック
24	キジバト スズメ	・今月の観察は種類・数とも少なかったが、キジバトが通常の観察より、多く確認できた。 ・スズメがアブラゼミを何回も襲い捕食していた。	Bブロック
24		・梅雨明け前のムシムシした朝でした。セミの声もにぎやかになり、あまり種類がカウントできませんでした。花畑公園は「ポケモン狩り」のせいか、スズメの子1匹も見当たりませんでした。	Dブロック
24	ムクドリ カワウ ツバメ	・鳥も夏休み(?)のせいか種類も数も少なく、さびしい感じのするモニターでした。 ・いつもよりムクドリもカワウもちらほらで、ツバメだけが元気に飛び回っていました。	Bブロック
24	ハシブトガラス ムクドリ ハシボソガラス	・ハシブトガラスが何羽も公園でムクドリの幼鳥を狙っているようでした。 ・中川の土手で毎朝大量のパンの耳がまかれ、ハシボソ・ハシブトガラスが口一杯にくわえてどこかに持っていきます。	Eブロック
29		・今日はあまり鳥を見つけられませんでした。	Aブロック

平成28年7月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
29	スズメ ムクドリ	・ 関原二丁目の八幡神社でスズメがアオドウガネを食べていた。 ・ 西新井さかえ園でムクドリがセミを食べていた。 ・ 5月の回より鳥の種類・数が少ない。5月はスズメが住宅街にたくさん営巣していたが、ほとんど巣立った模様。	Bブロック
30	スズメ シジュウカラ ムクドリ	・ 幼鳥を連れたスズメ・シジュウカラの姿が愛らしい。 ・ ムクドリも幼鳥を加えた群れを随所に見かけた。	Dブロック
30	ムクドリ	・ 中川公園付近を観察しました。暑いせいか、鳥の鳴き声はしても日向にいなかったりして、木の枝に隠れて涼んでいるような感じがしました。 ・ ムクドリが圧倒的に集団で行動しています。虫をくわえているのがよく見られます。雛もだいぶ大きくなって大人と同じ大きさに成長しているようです。しきりに親の後を鳴いて追いかけています。	Eブロック
30		・ 朝からセミの鳴き声が煩わしく、野鳥の声が聞こえないさびしい成果でした。	Eブロック
30	ムクドリ オナガ ツミ ハシボソガラス	・ 小さな公園にムクドリとオナガが巣を作っており、だいぶ大きくなった雛に餌を運ぶ親鳥の姿がありました。同じ松の木に巣を作っていたのでかなりの賑わいになっていました。 ・ 神社では前回観察したツミは雄のみになり、こちらは巣作りを失敗してしまったようです。その神社でハシボソガラスが巣を作っており、かなり威嚇をされました。神社にいたワカケホンセイインコですが、ツミが居ついたせいなのか移動しているようでした。	Cブロック

平成28年7月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
15	ツバメ	六木三丁目	2回目の子育てに成功したらしく幼鳥6羽と親が飛び交う。	Eブロック
17	ツバメ	大谷田五丁目・工務店車庫	抱卵中。	Eブロック
17	オナガ	大谷田五丁目・柳田公園	営巣、プラタナスの木。	Eブロック
17	スズメ	大谷田五丁目・郷土博物館	屋根の隙間に営巣多数。	Eブロック
17	ツバメ	大谷田三丁目・住宅ガレージ	営巣、4羽のヒナが顔を出していた。	Eブロック
17	ムクドリ	西新井公園	餌を引っ張り合っている幼鳥。	Dブロック
29	スズメ	西新井栄町の住宅街	電柱の設備からヒナの声。	Bブロック
29	ツバメ	関原三丁目の住宅街	店舗兼民家の軒先に巣があり、巣にいる幼鳥2羽、巣立ちはしたが巣のそばにいる幼鳥3羽、親鳥1羽。幼鳥たちが親鳥にエサをねだっていた。	Bブロック

平成28年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
3	スズメ ムクドリ	・家から通りに出ると、東方の家の屋根から太陽が上がったところでまぶしい。薄い雲はあるが、爽やか。近くの草むらのコオロギと遠いツクツクボウシの声を聞きながら出発。 ・スズメが2羽電線に止まって東を向いて無声、暫く動かず。百日紅の花が盛りを過ぎたようだが、あちこちで目に付く。まだ暫く楽しめそうだ。 ・7時半ごろ、雲少し厚くなり蒸し暑くなる。鳥の鳴き声も少なく、見える数も少ない調査になった。昼間、騒がしいオナガの姿も見えず少々物足りない感じだった。途中の公園で、小さな草むらにスズメが28羽も集まって、草の実をついばんでいる所があったが、ムクドリやスズメたちはどこかで一生懸命食事をしていたのかもしれない。	Eブロック
5	キジバト	・堀切橋近くで土手に上り河川敷と川面を見渡すが、鳥の気配無し。辛うじてキジバト1羽確認。ドバトが数羽飛んで来た。	Aブロック
6	ツバメ	・13種と鳥の種類が少なく、またその総数も少なかった。 ・ツバメ（15羽）が昨年（4羽）に比べ多く観察された。	Aブロック
9	カワセミ	・晴、東の風、風力1。 ・今日も清亮寺の正門が閉まっていて中に入れなかった。いつもは中に入って観察できた。 ・本日ドバト77羽。 ・今日も静かだった。水鳥も少なく、ツバメは1羽も見られなかった。 ・カワセミを右岸で見るのは初めて。すぐに対岸へ飛んで行ってしまった。	Aブロック
10	スズメ ムクドリ キジバト	・秋の低気圧が日本列島に横たわり、はっきりしない空模様です。今朝も曇り空です。 ・スズメ・ムクドリの個体数が少なく、どこへ移動しているのでしょうか。 ・夏、少なかったキジバトがあちらこちらで見られるようになりました。まだ夏の蒸し暑さの残る時期、たくさんの野鳥観察が出来るのは、もう少し先のようです。	Cブロック
10		・なぜか鳥の姿少し。その分、虫の声しきり。秋も近いか。 ・サルスベリ・ムクゲ・ウツギなど、今を盛りと咲いていた。	Cブロック
10	ムクドリ セッカ	・風はひんやり爽やかな朝でした。草の中では虫たちが美しい声を競い合っているようでした。 ・ムクドリは集団で移動していました。 ・調査中、セッカ3羽観察できたのは初めてです。 ・今回は多くの鳥に出会うことができました。	Bブロック
11	オナガ	・全体に数、種類とも少なく感じました。 ・オナガがカラスを取り囲み、追い払っていました。オナガのうち4羽は若鳥のようでした。	Dブロック

平成28年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
12	スズメ アオサギ ダイサギ	- 鳥影薄い中、60羽に及ぶスズメの群れが目立った。 - 釣り人との会話で、アオサギとダイサギはいつも見かけるといふ。 - 大きなスッポンが2匹も釣れたという話も。	Bブロック
12	キジバト シジュウカラ	- 東北に台風13号が上陸。その後、14号が新たに発生した現在、鳥の世界への影響はどうか観察に入った。 - 住区センター前の電線にキジバト1羽を確認。その後、センター裏の公園、神明南公園と続いて鳥の姿は無かった。中学校近くの電線に再びキジバト1羽を確認した。観察地域ではキジバトに出会うことが多く、営巣を見つけたいものだ。 - 雪見公園では今までにも多くの鳥を確認出来、今回も数種類確認出来た。なかでも、シジュウカラが公園と工場の外階段の下に入って鳴いているのが確認出来た。今年の新報で、シジュウカラは鳴き声の組み合わせに文法のようなルールがあると発表されている（平成28年4月2日読売新聞夕刊「シジュウカラ語？あった」）。今後も、鳴き声に注意しながら観察したい。 7月に見つけた送電線柱のカラスの巣には鳥の姿は無かった。	Eブロック
17		野鳥の数が少なく感じる。	Bブロック
17	スズメ ムクドリ ヒヨドリ カワラヒワ チュウシャクシギ	- ここのところずっと天気が悪くて、今日は久しぶりに朝から晴れ上がりました。 - この時期、スズメ・ムクドリ・ヒヨドリ・カワラヒワの幼鳥またはその群れがよく見られます。 - 荒川が満潮でしたのでシギは期待できないと思って歩いていたら、河川敷内の少し広い草地でいきなりチュウシャクシギに出くわしました。まだくちばしが少し短い幼鳥でしたが、水辺以外で観察するのは初めてでした。少し近づいても飛んで逃げるわけでもなくじっと佇んで、干潟の出るのを待っているように思えました。	Aブロック
17	スズメ ムクドリ カワラヒワ	- 鳥の姿が少ない。スズメ・ムクドリは声がしても姿がなかなか見えない。そのくせ一斉に飛び立つと数えるのに苦労するほどいたりして驚く。 - 氷川神社の高い梢を渡るカワラヒワが見えた。ここと千住仲町公園にはいつもスズメ・ムクドリ・ハシブトガラスが群れていることが多いのだが、今日はとても静かだった。	Aブロック
17		このところ雨天続きでした。やっと青空が見えました。	Dブロック
18	スズメ ムクドリ	7月の調査日のムクドリの一群達が目につく西新井公園の今朝は鳥の姿はありません。対して、ベルモント公園の芝上にスズメの群れ62羽、その中にムクドリ5羽も混じり、仲良く芝をついばんでいます。1m位のところで観察なのですが、さわぐことなく黙々とついでにいます。よほどおいしい餌なのかな。	Dブロック
18		- 台風の合間を縫っての観察だったので、途中で雨が降り出し、あまり収穫は無かった。 “ギューギュー”というコゲラの声聞いたが目視できず。	Dブロック

平成28年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
19	オナガ コサギ	・台風の後、肌寒い朝。やはり鳥影も少なく、特に珍しい鳥も無い。 ・それでも、この辺では見掛けないオナガが住宅地の中で群れているのが印象的だったのと、川岸でコサギが魚を狙っている姿が見られました。	Aブロック
24	スズメ ムクドリ	・9月は雨の日が多く、今日も朝まで雨が降っていましたが、上がったので出掛けました。 ・冬鳥はまだ来ていません。スズメとムクドリばかり目立ちました。	Eブロック
24	オナガ	・雨続きの合間の曇り空のせいか、確認できた鳥が全般的に少なかった。 ・その中でオナガの存在が、数・鳴き声とも印象に残った。	Bブロック
24	コムクドリ ムクドリ カワセミ	・長雨がなんとか止んだがまた降り出しそうな曇り空、鳥が本当に少ない。 ・私の9月の楽しみはコムクドリ。しかしこの秋はまだ確認していない。期待して調査に出たが見当たらない。後半を過ぎ、六木3丁目Hさん宅の庭先にいました。30羽くらいのコムクドリが大きなサルスベリの木にからんだヘクソカヅラの実をにぎやかに食べていた。喜んだのもつかの間、後から来た10羽ほどのムクドリに追われて飛んでしまった。 ・六木水の森公園（水車広場）でしばらくぶりにカワセミも見られた。	Eブロック
24		・雨の日が多く、なかなか調査に行けませんでした。久しぶりの晴れ間、野鳥の動きも良いのではないかと期待して歩いたのですが、まだ渡りにも早いようで、留鳥だけの観察でした。全体的に数も少なかったです。	Eブロック
24	セイタカシギ	・西新井橋近くの木工沈床の下の干潟状になった砂地で、セイタカシギ2羽が採食していた。2羽とも頭に黒斑があり、背に緑色があった。このため、両方とも雄だと思われる。	Bブロック
24	カワセミ	・今にも降り出しそうな怪しい雲行きでしたが、諸々の都合で調査しました。 ・まず、カワセミが川面を低く飛んでくれて、さい先よし！と思いましたが、期待の相撲部屋前にはカルガモの姿さえ無く、淋しい結果となりました。	Cブロック
25		・夏場に比べて、野鳥が地面を歩く姿が少なくなった気がする。調査に記載した以外でも、鳴き声が聞こえても、姿が見えなかったりした。	Eブロック
25		・1週間雨が降り続いた後の曇りの朝。地面に降りている鳥はおらず、全ての個体が樹上や建物上にいた。	Dブロック
25	シジュウカラ チョウゲンボウ	・雨の日が続き、なかなかモニターが出来なかったのですが、やっとのことで調査が出来ました。自分の調査地域では久しぶりにシジュウカラが観察出来ました。チョウゲンボウは日暮里・舎人ライナーの鉄橋付近を対岸に向けて飛んで行きました。	Bブロック

平成28年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
25	オナガ ムクドリ	・オナガとムクドリが特に目立ちました。	Dブロック
25		・6種20個体。秋になったが、種数・個体数とも少ないように感じられる。 ・今年は6月頃から日照時間が少ない。異常気象のように思う。今日も曇り空で確認数が少ないが、今後に期待します。	Dブロック
25		・雨続きのせいか、野鳥の姿も少なかったです。神社に居ついていたツミもいなくなりましたが、もともと神社にいたワカケホンセイインコは寺院の方に移動しているようでした。	Cブロック
25	ムクドリ	・台風の前で桜の葉が散り、彼岸花があちこちに咲いていた。 ・池にはカルガモが居なかった。調査以来、初めてのこと。 ・いつもなら飛び回っているドバトが30羽くらい草むらにうずくまり休んでいて、その周りをムクドリが忙しく歩き回っていたのが可笑しかった。	Eブロック
25	シジュウカラ	・まだ夏の野草が残っていた。1週間ほど毎日雨が降っていた（秋雨前線・台風など）。 ・やっと晴れた日の野鳥調査だった。シジュウカラなどが目立っていた。	Eブロック
26	オナガ カワセミ チョウゲンボウ	・オナガがいた。この場所では初めて。 ・そして何年かぶりに、カワセミ・チョウゲンボウが飛ぶ姿を見る。 ・湿度が高く不快だが、良い朝だった。	Bブロック
26		・25日より少し晴れ間がのぞきました。風はなく鳥は少ない印象がありました。長雨のためか隅田川と荒川放水路の水面は細かいゴミでいっぱいでした。朝7時過ぎより観察を始めましたが、8時台には蒸し暑さを感じました。	Aブロック
26	キビタキ	・亀田公園と梅田稲荷神社で、キビタキなどヒタキの仲間を確認した。住宅街の中でも、大きな木などのある程度まとまった緑地があれば、渡り鳥が利用するようです。また、2日前まで雨続きだったのがようやく晴れたので、夏鳥の動きが活発になってきたのかもしれない。	Bブロック
28	イソヒヨドリ	・イソヒヨドリの雄の若鳥1羽と雌1羽が、良い声でさえずっていました。	Aブロック
28	アオサギ	・川岸の泥のところでアオサギが食事中。こちらの気配に気付いたらしく、カニのようなものをくわえて逃げていきました。	Aブロック
29		・久しぶりに良い天気でしたが、野鳥の数が少なく、さびしい結果となりました。	Eブロック

平成28年9月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
30		・ハト3羽、サクランボの実を夢中で食べている。	Eブロック

平成28年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
3	オナガ	・オナガが元気に鳴きながら飛び回っていました。カラスより元気でした。 ・この地域は工事が多いためか、全体に数が少なかったようでした。	Dブロック
4	ジョウビタキ	・河川敷なので休日の合間を狙ってのモニターで、この季節まああの種類と数が確認できました。 ・扇大橋の下でジョウビタキが2羽いて、オスとメスであることを確認。しばらく観察していると結構仲良さそうで、とても縄張りを争っているようには見えず、むしろイチャついている様な感じがしました。	Bブロック
4	ムクドリ スズメ カルガモ ヒドリガモ ホシハジロ コガモ キンクロハジロ カンムリカイツブリ ハヤブサ	・快晴、風あるも鳥見日和、21種観察。 ・鉄塔の上に100羽ほどのムクドリが群れていた（AM6:20）。また、公園の芝生の上には100羽ほどのスズメと30羽ほどのムクドリが群れていた。 ・水辺にはカルガモに加え、ヒドリガモ・ホシハジロ・コガモ・キンクロハジロなどのカモ類とカンムリカイツブリが観察された。 ・鉄塔の上にはハヤブサがいて、時折急降下が観察された。	Aブロック
5	ヒヨドリ スズメ オナガ ムクドリ	・6時に出るつもりが、雲が多く少し暗いので少し遅らせた。ヒヨドリとカラスの声は聞こえるが、傍に姿は見えず。 ・最初はヒヨドリの方がスズメよりも多い感じだったが、結果は若干スズメが勝った。 ・今年は、季候の関係のせいか紅葉の様子が普段と違っている気がする。小鳥たちにとって、食糧事情はどうなっているのか気になる。 ・7時50分頃、民家の柿の木でオナガとムクドリが実をつついていると思ったら、ムクドリ5・6羽とオナガ7羽が近くの花ミズキに移動して、争うように実をついばんでいた。喧嘩はしていなかった。 ・8時少し過ぎ霧雨のような雨が感じられたが、10時過ぎには快晴の小春日和になった。今年は天気の様子が変わる。	Eブロック
5	スズメ ムクドリ ヒヨドリ	・特別支援学校横の道路標識のポール内に巣材を持ち込む数羽のスズメを見掛けた。晴れ予報で出かけたが途中で小雨ぱらつく朝になってしまった。 ・すっかり冬らしい鳥たちを見掛けるようになった。今まであんなにいたムクドリにかわってヒヨドリの数が増していた。	Dブロック
5	ムクドリ スズメ ユリカモメ	・高速道路の橋桁にムクドリやスズメが止まり、ある程度集まってから市街地の方に飛び去った。子育てが終わったためか？ ・4羽のユリカモメが、扇大橋～西新井橋の中間付近にある野球場の芝の上で採食していた。1羽が別の個体の所に飛んでいき、追い出すようにしてそこに止まった。杭に止まった個体を追い出すのはよく見かけるが、それと同じような行動だと思われる。	Bブロック
6	スズメ ヒヨドリ シジュウカラ	・真紅の実を付けた、紅葉も美しいハナミズキを眼下にして、トランスあたりでさえずるスズメたちが目立った朝です。 ・例年通り、ヒヨドリも元気で飛び回っています。桜の樹の枝の間、シジュウカラを追い回している様子が面白い。	Dブロック

平成28年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
6	ジョウビタキ ヒドリガモ ホシハジロ	・旧綾瀬川沿いの小さな児童遊園でジョウビタキのメスを見付けた。私にとってはこの地域で初めてだ。よく見ようと双眼鏡を向けると護岸に移動した。すると別の方角からもヒタキの声がした。振り返ると、何ともう1羽ジョウビタキ（これもメス）がいて盛んに鳴いている。こんな狭いところに2羽、テリトリー争いが始まっているのかもしれない。 ・隅田川のヒドリガモ・ホシハジロは既に冬羽に換わっていた。	Aブロック
6	ヒヨドリ スズメ メジロ	・この2・3日、急に気温が低くなってきた。この日も10℃位で、天気が良く、少し肌寒い日でした。 ・ヒヨドリが柿の実をついばんでいた。 ・スズメなどに混じってメジロの姿が見られた。	Eブロック
6	ヒドリガモ	・秋も深まり、野鳥たちの動きも活発になってきました。調査日にツグミは確認されませんでした。3日前から声を聴くようになりました。 ・中川に集団でやって来るヒドリガモ。到着が遅れているのでしょうか、2羽だけが川面に浮かんでいました。	Eブロック
10		・曇り、北の風、風力2、寒い10℃以下。	Aブロック
12	ジョウビタキ モズ ツグミ	・昨日までの雨が上がり、寒さも少し和らぎました。 ・ジョウビタキ・モズ・ツグミ等、冬鳥が帰ってきました。ツグミは今年、初見でした。 ・私のエリアではないのですが、カンムリカイツブリも見られました。	Eブロック
12		・ネット上ではマヒワ・ツグミ・アトリなどの冬の小鳥たちの便りが届いていますが、今日の観察では見られませんでした。ただ、カモは増えていて、観察区域外ですがコガモの群れも見られました。	Aブロック
12	ヒヨドリ ツグミ ハクセキレイ ムクドリ カワセミ コサギ カワラヒワ スズメ	・昨日の雨も上がり、今朝は快晴の空です。足元を気にしなくてもよいゴム長靴を履いての調査です。 ・雨上がりの良い天気になったので鳥の動きが活発です。特に、ヒヨドリ・カラスが活発で、個体数を取るのに悩まされました。 ・野球場の芝にツグミがハクセキレイ・ムクドリと交わって餌を取っていました。 ・大池の中洲の垂れ下がった枝にカワセミを久し振りに見ることが出来ました。 ・青空の中を飛来したコサギが数回旋回して優雅に舞い降りました。 ・今朝の調査でカワラヒワ・スズメがあまり観察されず。公園近くでよく見るメジロは観察されませんでした。	Cブロック
12	ヒヨドリ オナガガモ	・公園は紅葉が美しかったが、冬支度の調査でした。 ・公園に入ると、やけにヒヨドリがうるさく鳴いていた。 ・オナガガモが戻ってきたが、餌が無く、そばまで寄ってくる。	Eブロック
13	ジョウビタキ	・駐車している車のサイドミラーに、ジョウビタキがしばらくまとわりついていました。ミラーに写っている姿に興味を示した模様？	Bブロック

平成28年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
13	ヒヨドリ メジロ	・ケヤキやモミジが色づき、さわやかな朝でしたが、ピーピーとヒヨドリの鳴き声ばかりが際立っていました。 ・心待ちにしていたコゲラやツグミとは会えず、最後にチーチーと可愛く飛び交うメジロに会い、やっと冬到来を感じました。	Dブロック
13	ユリカモメ アオサギ ダイサギ	・快晴。野球・マラソンなどで、河川敷は賑やか。 ・ユリカモメの一群が目立った。 ・数は少ないが、お馴染みの鳥たちを観察できた。アオサギとダイサギは決まったところで見かける。定住しているようだ。	Bブロック
13	モズ ヒヨドリ スズメ ハクセキレイ	・穏やかな小春日和、モズ・ヒヨドリたちの歌声が心地よく聞こえてきました。 ・スズメ・ヒヨドリ・ハクセキレイを多く見かけました。スズメたちは集団で草原を飛び交っていました。	Bブロック
13		・今朝は良く晴れた風も無い好天。私の地域では、住宅の建て替えにより実のなる樹木が無くなる家が多くなり、そのせいかメジロ等の姿が見えなくなったようです。	Dブロック
14	ヒヨドリ ムクドリ オナガ ジョウビタキ ツグミ	・当日は曇りではあるが暖かく、特に珍しい鳥は見られませんでした。住宅の庭の柿の実にヒヨドリとムクドリが群れていました。また、オナガも多数群れていました。 ・今年初めてジョウビタキ♂とツグミも見ることが出来ました。	Aブロック
14		・紅葉は美しいが、なぜか鳥は少し。カラスの姿が見られないのは、ごみの日ではないせいでしょうか。	Cブロック
15	ウグイス ジョウビタキ	・霧雨で気温高めか、ウグイスの地鳴きを聞く。 ・ジョウビタキのメスは確認出来ず。	Bブロック
16	ハクセキレイ ユリカモメ オオバン イソシギ オナガ	・午前5時10分、気温9℃、北寄りの風、風力1。空に星が見えている。観察場所に向かうが鳥の声はほとんど聞こえない。 ・午前6時5分、神明住区センターに到着。裏の公園にハクセキレイを見つけた。日の出は午前6時18分であるが、周囲も明るくなり観察を開始する。 ・神明南公園の西側でラジオ体操に集まった女性が银杏拾いをしている。しかし、まだ枝には葉がたくさん付いている。全部葉が落ちれば観察しやすいと思いつつ観察を続ける。 ・花畑川にユリカモメ1羽・オオバン1羽がいた。首都高速下近く、植え込みの雑草を刈り込んだ場所にイソシギ1羽がついばんでいた。住宅街に入ると電線にオナガ6羽、なかなか騒がしい。7月に見つけた送電線柱のカラスの巣に鳥の姿は無い。ただ、偶然か、巣から張り出た所に水色の針金製ハンガーが掛かり、風に揺れている。もちろん衣服は掛かっていない。	Eブロック

平成28年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
18	ハヤブサ ユリカモメ チョウゲンボウ カシラダカ	- 初めてハヤブサを見ました。しかも捕食中。餌食となったのは若いユリカモメでした。 - 何年か振りにチョウゲンボウも見ることが出来ました。カシラダカが目の前に来たりと、感激的な朝でした。	Bブロック
20	メジロ	9種を確認しました。初冬になり、野鳥の種数が多く感じられます。特にメジロが目立ちました。	Dブロック
20	メジロ シジュウカラ	- 小春日和の好天に恵まれて調査を行いました。 - 調査成果は12種を確認し、久々に2桁となる成果でした。メジロ・シジュウカラの群れが目を引きました。	Dブロック
20	ジョウビタキ ヒヨドリ メジロ スズメ	- 冬の使者である、ジョウビタキのメスがやってきていました。 - 夏の間、あまり姿を見せなかったヒヨドリたちをいろんな場所で見かけ、騒がしいくらいに飛び回っていました。 - 熟した柿の木をメジロをはじめ、スズメやヒヨドリたちが美味しそうにつつついているのが印象的でした。	Cブロック
21	ジョウビタキ	- 対象範囲外ですが、梅田3丁目のお寺で、ツグミ1羽確認。 - ジョウビタキは、3か所で声のみ確認。	Bブロック
26		草むらを歩きながら、えさをついばんでいる姿が多かった。	Dブロック
26	アトリ	初めてアトリが公園のケヤキに。3分位で一斉に飛び立ってしまいました。どこで一冬を過ごすのでしょうか。	Eブロック
26	ツグミ	- 一昨日（24日）雪が降り、昨日本日と大変寒い朝でした。毛糸の手袋をはめていても手先が痛くなるほどでした。快晴でして日の出のしばらく後に調査を開始しました。 - 隅田川右岸に比べ調査対象の左岸は日陰のためか水鳥は少なかったです。千住緑町一丁目4付近の小学校仮校舎工事現場の隅田川側のヨシが刈り払われ、オオジュリンやカモの姿はありませんでした。コンクリートの擁壁設置工事中のようでした。今回はツグミが群れで固まっているのを興味深く見ました。いずれの個体もやせた印象で間違えそうになりました。渡ってきたばかりでしょうか。 - 全体の印象ですが9月の長雨時に比べて個体数が多く、元気な鳥の声が住宅街に響いていたように思います。	Aブロック
26	コガモ	葦など植物が刈り取られ、コガモが上流に追いやられています。調査日は7羽のみ確認でしたが、10月末にはメスの姿を30羽以上確認しています。	Cブロック
27	カワウ	今日はカワウがたくさん飛んでました。	Aブロック

平成28年11月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
29	ヒヨドリ ムクドリ	・観察区域の広い公園上空を、鳥種不明だが猛禽類の飛翔が見られた。 ・木の葉が盛んに散っているが、まだ色づいた紅葉が美しい。 ・実を付けたクスノキの中、ヒヨドリ・ムクドリの鳴き声が聞こえるが、目視できるものは多くはない。記録にあげた数の倍以上が実数かもしれない。	Dブロック
29	カルガモ ツグミ	・柳原千草園の小さな池にカルガモ2羽、園内1周後に池に戻ると飛び去っていた。 ・堀切橋寄りの河川敷にサッカーグラウンドが整備中。更に既設護岸改築工事（29.2.28まで）が行われており、狭くなった河川敷にかろうじてツグミ3羽が飛来していた。	Aブロック
29	アトリ	・民家の柿の木を目当てに小鳥が来ているので、見つけやすい時季になりました。種類は少ないけれど、数は多くなってきています。 ・アトリは5羽一緒にいましたが、わずか5分間くらいの出会いで、とてもラッキーだったと思います。	Eブロック
29	アトリ シメ	・六木水の森公園（水車広場）で30羽くらいのアトリの群れに出会えた。8年くらい前にも1羽、それ以前にも垢川遊歩道で群れに会ったこともあるが、久しぶりです。移動が激しくて数ははっきり確認出来なかったが、日に照らされてとてもきれいだった。 ・シメも久しぶりです。	Eブロック

平成29年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
1	メジロ ホシハジロ キンクロハジロ ヒドリガモ	・ 昨年から区内で鈴なりのみかんの木をよく見掛ける。自宅にもみかんの木があり、ヒヨドリの声が聞こえ、確認するとみかん数個に穴が開き、地面に細かくちぎられたみかんの皮が散らばっている。調査区域にみかんの木はあったか？果実や木の実に注意しながら観察を開始した。 ・ 神明南二丁目に「大きいみかん」と「小さいみかん」の木があるお宅があった。ヒヨドリの姿は見えなかったが、小さいみかんの木だけ、約10個の実に穴が開いていた。鳥の嗜好が窺える。 ・ 神明南公園のイチヨウの木がきれいに枝おろしされていた。見通しが良く、近くの椿の木にメジロ1羽を確認出来た。その後、地域内でメジロ2羽を確認出来た。 ・ 花畑川では水鳥のホシハジロ・キンクロハジロ・ヒドリガモなど17羽を確認。西年初調査は幸先良く、いつもより多い種類の鳥を確認出来た。	Eブロック
3	ユリカモメ ヒドリガモ オオバン ムクドリ カワウ	・ 快晴。穏やかな三箇日の河川敷。ユリカモメ・ヒドリガモ・オオバン・ムクドリの群れが目立った。頭と羽先の白いカワウが混じっていて珍しかった。	Bブロック
3	オナガ シジュウカラ ヒヨドリ コゲラ メジロ	・ 夜明けと共に観察を始めました。正月中でもあり、人影も無い静かな朝であった。 ・ オナガの群集とシジュウカラの対抗戦を見ることが出来た。 ・ ヒヨドリがカキの実やサザンカの花の蜜を吸っている姿を見ることが出来た。 ・ ケヤキの木の下から、らせん状に上がり、また飛んで木の下から上がる、教科書通りのコゲラの生態も観察出来た。近い所にシジュウカラやメジロもいた。	Eブロック
4	ゴイサギ	・ 暖かく穏やかな日でした。 ・ 六木3丁目Hさん宅の民家の庭先、日当たりの良い木にゴイサギが4羽、日光浴中でした。親鳥2羽・幼鳥（ホシゴイ）2羽でした。私のフィールドでは久しぶりで感激！しばらく見入っていました。 ・ 今日はジョウビタキに会えませんでした。12月17日、我が家の庭先にオスのジョウビタキが姿を見せました。その後は見かけていません。1月調査での再会を楽しみにしていたのですが、残念でした。	Eブロック
7	ユリカモメ カンムリカイツブリ アカハラ オナガ ハシブトガラス	・ ユリカモメが40～50羽、固まって上流に飛んでいきます。 ・ カンムリカイツブリが4羽も来ています。 ・ 佐野いこいの森でアカハラ発見！オナガも佐野いこいの森に集結していました。 ・ ごみの収集日のため、15羽ものハシブトガラスが出されているごみに群がっていました。	Eブロック
7	カンムリカイツブリ	・ 荒川にカンムリカイツブリが1羽いて、盛んに水中に潜っていた。	Aブロック

平成29年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
7	カワラヒワ スズメ ムクドリ ヒヨドリ メジロ ジョウビタキ	・ 明るくなるのを待って出発。風がなく晴天。幸先良く近所の家の桜の木と電線にカワラヒワの集団を見た。11羽、数え終わった所へ近くから次々と10羽飛んできた。ほぼ1年振りでの再会。 ・ 初めのうちは鳥の動きがあまりなく、葉の落ちた木の枝に10羽とか28羽など、スズメが鈴なりに止まっているのを見た。 ・ 公園の周囲の藪の下に霜柱が出ているのを見かけたら、西沼公園では8時10分過ぎに霜が降りて地面が白く光っているのを見た。 ・ 8時20分過ぎ、庭木のミカンにムクドリ・ヒヨドリ・メジロが群れて実を食べている所に出会った。皮だけになったミカンが幾つかぶら下がっていた。 ・ ビワの花の蜜を吸っているメジロを3カ所ほどで見た。 ・ 普段、鳥をあまり見かけない所でジョウビタキの雌に出会った。野鳥の図鑑で確認。少しラッキーな気持ちで終了。指先が凍えて少々痛かった。	Eブロック
7	クイナ カルガモ ヒドリガモ コガモ キンクロハジロ ホシハジロ	・ 今年も昨年に比べ同程度の種類の鳥が見られた（今年26種、昨年25種）。 ・ クイナ初見。 ・ カモについて…荒川の1種（カルガモ）に比べ、隅田川で5種（カルガモ・ヒドリガモ・コガモ・キンクロハジロ・ホシハジロ）と種類も数多く見られた。最近この傾向が目立つようである。ヒドリガモが群れ（25羽）で草を食べていた。	Aブロック
8	イカルチドリ イソシギ ツグミ メジロ	・ 午後から雨の予報で曇っていました。暗いせいもあるのでしょうか、いつもは「波消し蛇籠」の上で休んでいるイカルチドリが時々声を出しながら、活発にエサ取りをしていました。そこにイソシギも加わり干潟はしばし賑やかな時間になっていました。他はツグミとメジロが多いように思いました。	Aブロック
8	ツグミ ハクセキレイ	・ 道端にツグミが歩いているのを見つけた。立ち止まりじっとしているとすぐ目の前まで近付いてくる。視界の端に何か動くものが見えて、動かずに目を向けるとハクセキレイだった。1m位まで近付いてきて、やっと私に気付いたのか急に走って離れていった。若鳥のようだった。ツグミはいつのまにか見えなくなっていた。 ・ 「チッ」という金属的で強い地鳴きが聞こえたので姿を探していると、児童遊園の木の枝先に灰色でスズメより少し大きめの小鳥がとまった。双眼鏡に入れた瞬間に飛ばれ確認できなかった。飛び方は直線的で速い。荒川に向かって飛んで行った。戻って図鑑で当てはまりそうな鳥を探すとクロジが最も可能性があるが、枝先に出てくるのだろうか。自信がないのでリストには入れなかった。	Aブロック
8	チョウゲンボウ ムクドリ ハシボソガラス	・ チョウゲンボウが、右岸側から日暮里・舎人ライナーの線路に沿うように飛んで来て、左岸側の土手を越えて街中に去っていった。 ・ パークゴルフ場のグリーン上にいたムクドリの群れを、ハシボソガラスが飛んで来て追い払った。逃げたムクドリが木の枝に止まると、ハシボソガラスが木に飛んで行って追い払った。それを何度も繰り返していた。	Bブロック
10	スズメ ユリカモメ	・ 前日の雨が嘘のような快晴。今日は川岸だけ回りました。 ・ 鳥の種類はあまり見られませんが、扇大橋上流の刈り取られた部分にスズメが群れていました。 ・ 以前は多数見られたユリカモメが少数見られました。	Aブロック

平成29年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
13	ベニマシコ ヒドリガモ	・快晴、北風力1、ドバト88羽以上。 ・ベニマシコや目の後ろが緑色のヒドリガモなどを図鑑で調べていて、時間がかかってしまった。	Aブロック
13	オナガ ヒヨドリ ムクドリ オナガガモ シメ	・ネズミモチの実を食べにオナガ・ヒヨドリ・ムクドリが集まっていた。 ・公園にも霜柱が出来ていた。冷え込んだからなのか、オナガガモは陸に上がってうずくまっていた。 ・落葉した木の天辺にシメが確認出来た。	Eブロック
15	ヒヨドリ ムクドリ ジョウビタキ ハクセキレイ アオジ	・冬晴れの寒さ身に染む朝です。 ・枝に残った柿の実に、ヒヨドリ・ムクドリが群れています。 ・今年もジョウビタキに会えました。 ・芝生上、追いかけてこ模様のハクセキレイ。 ・サザンカの生垣の間からアオジ2羽、寄り添う姿が絵になります。	Dブロック
15		・今シーズン最強寒波が日本列島を襲来中。朝から冷え込みが強い。日本海側では連日大雪のようだ。この寒さにもめげず、鳥たちは元気だ（のように見える）。 ・昨シーズン偶然やって来た“あのハクガン3兄弟”は、今シーズンはさすがにいない。	Aブロック
15	ユリカモメ	・冷え込みが厳しい朝でした。歩くと、霜柱でサクサクと音がします。鳥たちも寒さで動きが鈍いのでしょうか、あまり声も聞こえません。 ・久しぶりに、ユリカモメが途切れることなく川を遡って行くのを見ました。	Eブロック
16	キンクロハジロ ホシハジロ オオバン カワラヒワ ムクドリ ヒヨドリ ツグミ スズメ	・最強の寒波の襲来とかで河川敷の水たまりは解けておらず納得の気温ですが、風が思ったほど強くなく快適なモニター日和でした。 ・川は満潮近くでサギ類はいませんでした。キンクロハジロ・ホシハジロ・オオバン等の水鳥が多数観察出来ました。 ・カワラヒワ・ムクドリ・ヒヨドリ・ツグミはいつも通りの数なのですが、何故かスズメが2羽しか観察できず他の場所に移動していた様です。	Bブロック
16	スズメ	・風の冷たい朝、小さい水たまりに薄く氷が張っていました。小鳥たちは今までで一番多くいました。ただし、スズメは1羽も見掛けることはなく、ゴールに近い草原に集団でいました。元気で賑わっている様子に安心しました。 ・熊之木を少し過ぎた頃、少し変わったカモメ？1羽が水面にゆったりとした姿で浮かんでいました。	Bブロック
16	ツグミ ヒヨドリ	・種数も数も少ない印象です。住宅街が多い地域なので、鳥の居場所は公園などとなりますが、公園は草刈りがされていて落ち葉もなく、野鳥の食べ物・隠れ場所がほとんどありません。 ・ツグミは例年より多く見掛けました。 ・公園に1本だけあるクロガネモチの実を食べるために、ヒヨドリが9羽集まっていた。 ・梅田七丁目（対象地域外）の個人宅のピラカンサの実を食べに、ムクドリ20羽、ヒヨドリ3羽、ツグミ2羽が集まっていた。	Bブロック

平成29年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
17		・今朝は青空の下、幾分、暖かい朝でした。なぜかとても静かでした。 ・川は東京拘置所脇の水路、公園は五反野コミュニティ公園です。	Dブロック
18	アオジ カワラヒワ	・堀切橋寄りにある少ないアシ原が人の手によってところどころ分断され、かろうじてアオジ1羽・カワラヒワ1羽の確認。	Aブロック
18		・気温低い。	Bブロック
18	メジロ	・現地に着くなり賑やかな鳴き声。それはメジロの群れでした。木から木に移動するところを数えました。30羽以上いたかもしれません。	Bブロック
19		・エサをくわえた鳥が何羽か見られた。	Cブロック
20	タシギ	・このエリアで初めてタシギを観察しました。	Cブロック
21	ハシブトガラス キジバト カワラヒワ シロハラ シメ モズ ジョウビタキ クイナ カルガモ	・今朝はハシブトガラスが鳴き声高らかに調査開始の合図をしてくれました。 ・朝の横からの日差しに照らされて、木に実が生っているようにキジバトが10数羽も枝にいます。公園の各地区で多く観察されました。 ・野球場の芝に木の葉が舞うように、カワラヒワの群れが餌をとっていました。 ・シロハラ・シメ・モズが各地区で、ジョウビタキの雌がA地区で、雄がB地区で観察出来ました。 ・大池にはクイナが住み着いているようです。 ・この冬は水鳥の種類が少なく思います。カルガモが、強くなってきた風のためヨシの中に入ってしまったのでしょうか。個体数の確認が少なかったです。	Cブロック
22	メジロ シメ アカハラ	・椿の花が咲いている生垣数箇所、メジロが多数確認出来た。 ・調査を開始してから初めて、シメとアカハラを確認出来、感動した。	Bブロック
22		・厳しい寒さが続く中、幾分、和らいだ日曜の朝でした。 ・この区域唯一の河川「毛長川」に、筏に浮かべたパイプが通されていて、水鳥は皆無でした。「花畑団地」の三分の一くらいは大学予定地で封鎖されているし、益々調査区域が狭まっている感じです。	Dブロック
22	メジロ カワラヒワ	・メジロが普段より数多く見られ、いつも見られないカワラヒワが2羽とはいえ観察することが出来ました。	Dブロック

平成29年1月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
27	ヒヨドリ	- 曇り空で気温も低く、寒い天候の中での調査でしたが、9種が確認出来、住宅街の中の成果としてはまずまずでした。 - ヒヨドリをはじめ元気な「さえずり」も聞くことが出来、これから楽しみです。	Dブロック
27	ヒヨドリ カワラヒワ	- 気温が低く寒いので、野鳥は少ないかと思っていたが、調査が終わってみると14種の確認で、まずまずの成果でした。 - ヒヨドリとカワラヒワの大群に出会ったのも楽しい思い出となりました。	Dブロック
28	アトリ シジュウカラ コゲラ	- いつもの公園はご近所の方々が掃除に入っており、鳥数も少なかったです。 - 神社では冬鳥であるアトリが群れで行動していました。また、シジュウカラと一緒にコゲラも見られ、神社はかなり賑わっていたのがとても印象的でした。	Cブロック
29	ツグミ	晴れて暖かくなるとの天気予報がはずれ肌寒く、8時前になっても日差しのない暗い朝でした。6時台～7時台は、鳥だけではなく人の動きもあまりない印象でしたが、橋戸稲荷神社だけは餅つき大会の準備で賑やかでした。千寿小仮校舎付近では太ったツグミが見受けられました。	Aブロック
30		春のような暖かい日だったが、果樹が無くなったせいか、鳥の出はあまり無かった。	Eブロック
30	スズメ オオバン	- 日の出後も暗かったため開始時刻をいつもより遅めにしてみました。 - スズメがかなり元気に群れで地面・樹上等いたるところで活動していました。また、普段は川周辺土手が整備されており水鳥が思いのほか少ないのですが、今回はオオバンがたまたま群れで飛来してきたのか、まとまっていたのも印象的でした。	Dブロック
30	ハシブトガラス ユリカモメ	飯塚橋の土手で毎日パンくずをまいている人がいます。たくさんのハト・ハシブトガラス・ユリカモメが集まっています。	Eブロック
31	コゲラ	- 日差しはありお天気は良いが、寒風で寒い日だった。 - 小鳥たちはどこへ行ってしまったのかと思うほど姿が少なかったが、遅くなって暖かくなってきて、ようやく姿を見かけるようになった。久々にコゲラを眼前で見る事が出来た。	Dブロック

平成29年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
1	オオバン ヒドリガモ ヒバリ ハクセキレイ ツグミ	・江北橋川岸付近（上流）側にオオバンが多数群れていました。他にヒドリガモが混泳していました。こんなに多数群れているのは初めて見ました。 ・姿は見ることは出来ませんでした。早々にヒバリの声が聞かれました。また、路上にハクセキレイが多く見られますが何故でしょうか。 ・ツグミがグラウンドに多数見られるのもそろそろ終わりかなと思われるます。	Aブロック
3	カワラヒワ カンムリカイツブリ ムクドリ	・カワラヒワがアキニレの樹に群がり種を採食していた。 ・今回もカンムリカイツブリ1羽を荒川で観察した。 ・2月頃からムクドリ4～5羽が民家の戸袋近くで、時々早朝から争っている。以前にここで数回繁殖している。	Aブロック
4	ヒヨドリ ムクドリ キジバト スズメ	・寝坊、急いで出る。東の方の黒い雲が気になったが、日が昇るにしたがって春の陽光。草花があちこちで目を楽しませてくれるが、指先はかじかんで冷たい。 ・ヒヨドリ・ムクドリ・キジバト・スズメ・カラスのペアが目についた。畑で10羽ほどのヒヨドリが、収穫し終わったブロッコリーの葉を食べつくし、キャベツの葉をつついていてる所を見た。被害はかなり大きそうだった。	Eブロック
4	ゴイサギ	・1月の調査で、六木3丁目Hさん宅の庭先で日光浴中のゴイサギ4羽の親子が見られたが、今日は道路からは確認出来なかった。畑作業をしていた奥様が、今日も居るからと畑に招き入れてくれた。成鳥2羽と幼鳥1羽が休んでいた。御主人はこの鳥を見るのが楽しみの日課だそうです。この冬、多い時には2本の木に12羽が囀っていたそうです。	Eブロック
4	シジュウカラ カンムリカイツブリ	・ちょうど満潮に向かう時間で川が逆流していました。したがって干潟が少なく、シギチは休みの時間に入ってしまったようです。 ・早朝の静かな住宅街を歩いていると、シジュウカラのさえずりがよく聞こえます。 ・担当地区で初めてカンムリカイツブリを観察しました。	Aブロック
4	オナガ カモメ	・公園は近所の方々がお掃除をしており、鳥たちは人気の少ない寺院周りにたくさん集まっていました。 ・オナガが集団で、小さな木になっている種子を食べていました。 ・川では、今回初めて見たカモメが大きな川魚を食している姿が見られました。	Cブロック
4	ゴイサギ	・満潮に近い状態で、大型のサギなど干潟の鳥は見られなかったが、新芝川でゴイサギが対岸でじっとしているのが観察された。フンで白く汚れが目立ち、定住している様子。	Cブロック
4	カワラヒワ ユリカモメ ムクドリ ツグミ	・風は穏やかで周囲の景色も明るく、小鳥も多くいました。カワラヒワ・ユリカモメ・ムクドリ・ツグミなど…。スズメは今回も途中1羽も見掛けませんでした。 ・やっと江北橋下、草の中にツグミ・ムクドリが同じ場所にいました。ホッとしました。 ・数は今までで一番少なかったです。	Bブロック

平成29年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
4	ハシボソガラス ハヤブサ	・ゴルフ練習場で、ハシボソガラスが貯食行動？白くて丸い球形のもの（中が綿状？）を芝生に埋めようとしたり、くわえ直したりを繰り返した。その後、それをくわえて飛び立ち、土手に降りたので追いかけて、その場所を確かめたが、球形のものは見つからなかった。食べたのか？ ・ハヤブサが、右岸側から日暮里・舎人ライナーの橋脚の上空5m位上を飛んで、左岸側の土手を越えて北西方向に去っていった。	Bブロック
5	ヒドリガモ	・土手の工事が始まり、川の調査が一部出来なくなりました。それでも今日は80羽のヒドリガモが飛来してくれました。区画整理のため、町の様子が日に日に変わっていきます。	Eブロック
5	メジロ	・1月の調査時には椿の花にメジロが多数確認出来たが、今回は梅の花に3羽しか確認することが出来なかった。暖かくなってきたので移動したと思われる。	Bブロック
5		・始めた頃と比べ種類と個体数が減っている。護岸の改築は大切ですが、その影響で鳥の姿が見られなくなったと言えるでしょう。後に自然を取り戻そうとビオトープ等を造ったりしなくて済むように、自然との共存を見据えた整備を望みます。	Aブロック
5	スズメ ホオジロ メジロ	・トランス付近でさえずり会うスズメたち、例年通り多いです。 ・そんな中、電線に胸を張り陽を浴びているホオジロを見守りました。 ・1月にアオジのいたサザンカの生垣の中、今朝はメジロが出入りしていました。	Dブロック
5		・河川敷は土木工事関係の車両出入りあり。 ・野良猫の数が増えた。	Bブロック
5		・節分は過ぎましたが、まだまだ寒く、野鳥の活動は静かだと感じました。	Dブロック
5		・今日は啓蟄とはいえ、まだ空気は冷たい。野鳥の声も少なく、種数・個体数とも平凡であった。民家の庭の梅は満開でしたが、公園の桜のつぼみは未だ固い。日々に春らしくなり、生きものは活発になるでしょう。	Dブロック
5	オオジュリン ベニマシコ ウグイス ジョウビタキ モズ ツグミ カワラヒワ	・風も無く穏やか。23種の鳥が見られた。 ・葦原でオオジュリン（群れ）・ベニマシコ・ウグイス・ジョウビタキなどが群れていた。 ・ウグイス初鳴、ベニマシコ初見。 ・モズがオオヨシキリなどのさえずりを真似ていた。 ・ツグミが開けた草地で多く見られた。また、カワラヒワが70羽ほど芝の上で群れていた。	Aブロック

平成29年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
5	スズメ ムクドリ メジロ	・スズメもムクドリもその多くがペアで行動している。単独でいるように見えても、飛び立つとどこからかもう1羽が付いていくのを何度も見た（まだ抗争中なのか3羽で行動しているものも少しは見たが）。営巣行動など具体的な繁殖行動はまだ見られなかったが、まもなくに違いない。 ・メジロも木のてっぺんで長い時間囀り続けていた。もう春が始まっている。	Aブロック
5	コゲラ	・コゲラは鳴き声で居場所を教えてくれる。桜の幹を忙しなく登っていた。	Eブロック
5		・梅・水仙が咲き、木蓮は蕾がいっぱい、もう春でした。心なしか鳥たちがのんびりしているように見付けやすかったです。	Cブロック
5	ヒヨドリ スズメ メジロ	・午前5時40分、スマホで足立区の気温を確認、6℃。天候晴れ、自転車で調査地域に向かう。時々、ヒヨドリ・スズメ等の鳴き声を聞き、野鳥観察に思いを巡らせながら調査地域に到着する。 ・神明住区センター裏の公園では鳥の姿、鳴き声無し。ゆっくり移動調査する。まだ葉が無い木々や枝おろした木があり観察しやすいが、鳥の鳴き声はするも姿を見る個体数は少ない。 ・北加平町6番の送電線柱の中腹にあるカラスの巣は、多少形が変わったがカラスの姿は無い。 ・電車区、電柱上の四角い金属管内にあるスズメの営巣場所でスズメが出入りし、スズメの生活を垣間見てほっとする。 ・少し早目に神明住区センター裏に到着し、静かに見回しているとメジロが飛んで来た。	Eブロック
5	ハシボソガラス	・大谷田公園にて：3月5日の調査日は梅まつりの開催日でした。朝早くからイベントの準備で、テント張りやテーブル設置等で賑わっていました。梅林は紅梅・白梅の蕾が色付き、周辺は梅の香りが漂っていました。 ・ハシボソガラスが巣材を運び、巣作り行動をしているのを2カ所で確認しました。	Eブロック
5	ウグイス ハシボソガラス	・ウグイスが「チャチャ」と地鳴きをしていました。 ・数は少なくとも、この地域にしては種類が多かった。 ・ハシボソガラスがごみ収集場でごみを荒らしていました。	Dブロック
5	アオサギ	・鳥インフルエンザでオナガガモの死体が見付かった件、区民の人もポスターを見て知っている人が多くいました。 ・アオサギ、ビルの屋上に飛来。	Dブロック
6		・休日はグラウンドでの野球があり、それを避けてのモニターでした。曇り空で幾分見にくい所もありましたが、冬鳥もまだ居て、それなりの種類が観察出来ました。 ・扇大橋上流の左岸は護岸工事中ですが、高水域にはワンドも出来るそうで野鳥が増えると思えますので少し楽しみです。	Bブロック

平成29年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
6	ハシボソガラス ムクドリ オオジュリン	・ハシボソガラス・ムクドリの巣材を運ぶ姿が見られました。 ・夏羽になったオオジュリンが1羽いました。	Bブロック
6	バン タシギ	・護岸の草が上流まですっかり刈り取られ、バンは隠れる所が無く中洲に上っていますし、毎年見られるウグイス・カワセミ・オオジュリンも姿無く淋しい限りです。 ・前回に引き続きタシギが1羽確認出来ました。	Cブロック
7	ユリカモメ オオバン ツグミ	・寒の戻り。薄ら寒い河川敷。ユリカモメに餌付けしている人がいた。オオバンはいまや流れの中で最もポピュラーな感じ。ツグミが一定の間隔をおいて、河川敷に満遍なく点在。	Bブロック
7	シジュウカラ コゲラ	・梅の花が満開でした。今日は寒い一日でした。 ・しょうぶ沼公園近くの街路樹で、シジュウカラ（3羽）とコゲラ（2羽）を見付けました。シジュウカラは「ソーピー」と鳴きながら、コゲラは「ギィー」と鳴きながら、木々を移動していました。シジュウカラが先頭に、コゲラが追いかけるように見えました。	Eブロック
9		・快晴、西風力1、ドバト180羽以上。	Aブロック
11	ツグミ ヒドリガモ	・梅や木蓮の花が咲き、鳥が蜜を求めに来ているため、観察しやすくなりました。 ・渡りが始まったのでしょうか？ツグミが見られるようになりました。ヒドリガモも初見です。	Eブロック
11	メジロ カワラヒワ アトリ オナガガモ	・早咲きの寒桜がほぼ満開となり、花の蜜を求めてメジロの一群が移動しています。その数26羽、珍しくまとまっています。また、野球場の芝では、カワラヒワの一群約50羽が餌を取っています。その中にアトリが8羽混じっています。 ・観察をしながら数を取っていると、私の近くの木からドッと枯れ草原に多くの鳥が降りました。アトリです。数えると約70羽ほどいます。これほど多くまとまっているアトリを見るのは初めてです。 ・カラスが活発に動いています。求愛のためか、縄張りのためか、時々集団になっているかと思えば、数羽で激しく飛び回ります。 ・オナガガモが少なくなりました。北へ帰る準備で大池には少なくなっています。 ・今月は27種の観察が出来ました。	Cブロック
11	シジュウカラ スズメ	・シジュウカラがさえずっていた。 ・梅田4丁目の明王院（調査エリア外）で、ウグイスのくぜりが聞こえた。 ・スズメが住宅街で多く見られた。繁殖時期が近いので集まっている？ ・冬鳥がほとんど見られなかった。	Bブロック

平成29年3月（観察記録）

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
12	ハシブトガラス	- 初めて黄緑色の鮮やかな野生のインコを見ました。 - ハシブトガラスが2羽でせわしなく枝をくわえて巣作りしてました。	Dブロック
13		- カラスたちが興奮してきており、木をくちばしで打ったりカラス同士で鳴き合ったりを各地で見掛けた。 - 団地等の工事が続いており、人はいなくても工事中現場には鳥たちが近寄って来ていない。	Dブロック
13	シジュウカラ	- 肌寒く薄曇りの朝でした。千住緑町付近の隅田川沿い観察路も工事が始まっており、通行出来なくなっていました。迂回しながらも出来るだけ従来に近いコースをとるようにしました。 - 本日はメジロが全く見られませんでした。シジュウカラが様々な場所で鳴いていました。珍しく、千寿小仮校舎脇の草地はほとんど鳥がいませんでした。陽射しが無かったせいでしょうか。 - 仮校舎の隅田川側では遊歩道の整備が進んでいます。ヨシも切られオオジュリンは見られなくなりましたが、また新しい鳥が現れるかもしれません。 - 今日はカラスとドバトがワラのようなものをくわえて飛ぶ姿が見られました。	Aブロック

平成29年3月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
4	ハシブトガラス	西沼公園そば	巣作り用?の小枝をくわえていた。	Eブロック
11	ハシブトガラス	梅田五丁目稲荷神社	ヒマラヤスギの木に巣があり、枝を運んでいた。	Bブロック

資料編

資料 1

平成28年度 野鳥モニター名簿・担当地域（五十音順・敬称略）

No.	氏 名	担当地域	
1		E	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
2		A	宮城全域（河川敷含む）
3		D	保木間一～三丁目
4		E	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
5		B	興野二丁目、扇三丁目
6		E	東和全域・谷中公園
7		A	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
8		D	梅島一～三丁目
9		A	小台全域（河川敷含む）
10		D	花畑三～五丁目
11		E	佐野二丁目、辰沼、六月一丁目
12		D	花畑六～八丁目
13		E	神明一～三丁目、六木三・四丁目（埴川、中川含む）
14		B	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）
15		B	鹿浜橋～熊の木（荒川左岸河川敷）
16		B	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
17		B	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
18		E	大谷田一丁目
19		A	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目（河川敷含）
20		D	西保木間一～三丁目

No.	氏 名	担当地域		
21		D	保木間四～五丁目	
22		A	新田全域（荒川右岸河川敷含む）	
23		C	西竹の塚二丁目、東伊興二・三丁目、伊興本町一・二丁目	
24		C	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）	
25		A	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町、千住橋戸町、千住宮元町	
26		C	舎人公園	
27		A	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）	
28		A	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）	
29		A	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以东の千住河原町及び千住橋戸町	
30		E	東綾瀬公園	
31		C	舎人一・二丁目（二丁目見沼代親水公園含む）	
32		E	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園	
33		E	神明南 1、2 丁目、北加平町	
34		B	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）	
35		E	大谷田二（中川含む）～五丁目	
36		D	島根全域	
37		B	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目	
38		D	西綾瀬全域	
39		B	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）	
40		C	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目	

資料 2 調査月別確認種と個体数

N0	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	0	0	0	170	341	412	923
2			カルガモ	89	87	46	111	116	114	563
3			ハシビロガモ	0	0	0	2	0	0	2
4			オナガガモ	1	0	0	74	122	82	279
5			コガモ	0	0	0	34	68	122	224
6			ホシハジロ	0	0	0	21	108	43	172
7			キンクロハジロ	0	0	0	31	129	16	176
8			スズガモ	0	0	0	1	0	0	1
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	0	0	0	1	2	3	6
10			カンムリカイツブリ	0	0	0	9	7	9	25
11	ハト	ハト	キジバト	107	98	97	94	193	121	710
12	カツオドリ	ウ	カワウ	87	64	63	134	160	119	627
13	ペリカン	サギ	ゴイサギ	0	1	0	1	5	5	12
14			アオサギ	11	14	30	14	7	17	93
15			ダイサギ	10	5	19	4	3	3	44
16			チュウサギ	0	1	0	0	0	0	1
17			コサギ	22	12	15	11	9	12	81
18	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	2	0	2
19			バン	7	2	3	4	3	6	25
20			オオバン	0	0	1	117	278	283	679
21	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	0	0	4	0	0	0	4
22	チドリ	チドリ	イカルチドリ	0	0	0	2	4	2	8
23			コチドリ	2	0	0	0	0	0	2
24		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	2	0	0	0	2
25		シギ	タシギ	0	0	0	0	1	1	2
26			チュウシャクシギ	1	0	2	0	0	0	3
27			イソシギ	20	1	14	16	15	14	80
28			ハマシギ	0	0	1	0	0	0	1
29		カモメ	ユリカモメ	0	0	2	320	1,078	425	1,825
30			ウミネコ	0	3	1	14	2	0	20
31			カモメ	0	0	0	0	0	1	1
32			セグロカモメ	0	0	0	13	18	23	54
33			オオセグロカモメ	0	0	0	0	0	3	3
34			コアジサシ	25	0	0	0	0	0	25
35	タカ	タカ	ツミ	0	3	0	0	0	1	4
36			オオタカ	0	0	0	0	0	1	1
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	1	5	4	0	0	10
38		キツツキ	コゲラ	1	3	1	4	8	5	22
39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	2	0	2	2	4	1	11
40			ハヤブサ	0	0	0	2	0	1	3
41	スズメ	モズ	モズ	0	0	11	27	28	17	83

N0	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計	
42	スズメ	カラス	オナガ	143	144	106	163	86	156	798	
43			ハシボソガラス	134	123	143	165	176	205	946	
44			ハシブトガラス	137	178	158	206	211	207	1,097	
45		シジュウカラ	シジュウカラ	99	62	122	118	114	97	612	
46		ヒバリ	ヒバリ	3	5	4	1	2	9	24	
47		ツバメ	ツバメ	161	284	31	0	0	0	476	
48			イワツバメ	14	13	1	0	0	0	28	
49		ヒヨドリ	ヒヨドリ	115	105	149	1,214	655	496	2,734	
50		ウグイス	ウグイス	0	0	0	7	6	8	21	
51		メジロ	メジロ	3	0	7	149	223	95	477	
52		ヨシキリ	オオヨシキリ	56	12	0	2	0	0	70	
53		セッカ	セッカ	4	4	6	0	2	2	18	
54		ムクドリ	ムクドリ	1,103	1,773	1,157	1,300	1,077	922	7,332	
55			コムクドリ	0	0	30	0	0	0	30	
56		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	0	2	4	6	
57			アカハラ	0	0	0	0	2	1	3	
58			ツグミ	0	0	0	32	262	297	591	
59			ジョウビタキ	0	0	0	36	15	10	61	
60			イソヒヨドリ	0	0	2	2	1	0	5	
61			エゾビタキ	0	0	1	0	0	0	1	
62			コサメビタキ	0	0	1	0	0	0	1	
63			キビタキ	0	0	2	0	0	0	2	
64		スズメ	スズメ	1,737	1,964	2,181	2,442	2,384	2,305	13,013	
65		セキレイ	ハクセキレイ	24	21	35	140	121	106	447	
66			セグロセキレイ	0	1	0	2	3	1	7	
67			タヒバリ	0	0	0	0	2	15	17	
68		アトリ	アトリ	0	0	0	55	14	80	149	
69			カワラヒワ	87	67	29	107	271	275	836	
70			ベニマシコ	0	0	0	0	4	3	7	
71			シメ	0	0	0	1	6	2	9	
72		ホオジロ	ホオジロ	0	0	0	0	4	9	13	
73			カシラダカ	0	0	0	2	0	0	2	
74			アオジ	0	0	0	5	20	23	48	
75			オオジュリン	0	0	0	0	29	73	102	
種名特定できず			カモSP	0	0	0	9	2	7	18	
			カモメSP	0	4	0	9	1	0	14	
			カラスSP	3	4	10	2	0	3	22	
			ヒタキSP	0	0	1	0	0	0	1	
確認種個体数合計（羽）				4,208	5,059	4,495	7,406	8,406	7,273	36,847	

資料3 ブロック別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	373	58	181	0	311	923
2			カルガモ	140	14	209	87	113	563
3			ハシビロガモ	0	0	2	0	0	2
4			オナガガモ	5	0	31	0	243	279
5			コガモ	134	7	83	0	0	224
6			ホシハジロ	67	88	11	0	6	172
7			キンクロハジロ	121	39	0	2	14	176
8			スズガモ	1	0	0	0	0	1
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	0	1	2	1	2	6
10			カンムリカイツブリ	9	9	0	0	7	25
11	ハト	ハト	キジバト	144	93	181	111	181	710
12	カツオドリ	ウ	カワウ	159	301	36	8	123	627
13	ペリカン	サギ	ゴイサギ	1	3	1	0	7	12
14			アオサギ	33	23	5	4	28	93
15			ダイサギ	11	21	3	1	8	44
16			チュウサギ	0	1	0	0	0	1
17			コサギ	33	17	15	3	13	81
18	ツル	クイナ	クイナ	1	0	1	0	0	2
19			バン	1	0	24	0	0	25
20			オオバン	305	134	120	14	106	679
21	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	0	4	0	0	0	4
22	チドリ	チドリ	イカルチドリ	8	0	0	0	0	8
23			コチドリ	2	0	0	0	0	2
24		セイタカシギ	セイタカシギ	0	2	0	0	0	2
25		シギ	タシギ	0	0	2	0	0	2
26			チュウシャクシギ	3	0	0	0	0	3
27			イソシギ	41	31	7	0	1	80
28			ハマシギ	1	0	0	0	0	1
29		カモメ	ユリカモメ	458	472	37	1	857	1,825
30			ウミネコ	10	7	0	0	3	20
31			カモメ	0	0	1	0	0	1
32			セグロカモメ	35	8	1	3	7	54
33			オオセグロカモメ	2	1	0	0	0	3
34			コアジサシ	1	0	0	0	24	25
35	タカ	タカ	ツミ	0	0	2	0	2	4
36			オオタカ	0	0	1	0	0	1
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	2	2	3	0	3	10
38		キツツキ	コゲラ	0	0	5	2	15	22
39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	2	9	0	0	0	11
40			ハヤブサ	1	2	0	0	0	3

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計	
41	スズメ	モズ	モズ	39	20	18	1	5	83	
42		カラス	オナガ	122	62	130	239	245	798	
43			ハシボソガラス	167	101	250	213	215	946	
44			ハシブトガラス	165	141	113	159	519	1,097	
45		シジュウカラ	シジュウカラ	76	54	156	143	183	612	
46		ヒバリ	ヒバリ	20	0	4	0	0	24	
47		ツバメ	ツバメ	158	140	31	32	115	476	
48			イワツバメ	0	26	0	2	0	28	
49		ヒヨドリ	ヒヨドリ	445	417	343	770	759	2,734	
50		ウグイス	ウグイス	7	8	1	1	4	21	
51		メジロ	メジロ	76	93	91	72	145	477	
52		ヨシキリ	オオヨシキリ	35	35	0	0	0	70	
53		セッカ	セッカ	8	10	0	0	0	18	
54		ムクドリ	ムクドリ	1,907	1,336	906	1,438	1,745	7,332	
55			コムクドリ	0	0	0	0	30	30	
56		ヒタキ	シロハラ	0	1	3	0	2	6	
57			アカハラ	1	1	0	0	1	3	
58			ツグミ	239	168	83	43	58	591	
59			ジョウビタキ	12	10	11	13	15	61	
60			イソヒヨドリ	2	3	0	0	0	5	
61			エゾビタキ	0	1	0	0	0	1	
62			コサメビタキ	0	1	0	0	0	1	
63			キビタキ	0	2	0	0	0	2	
64		スズメ	スズメ	3,798	1,710	1,175	3,223	3,107	13,013	
65		セキレイ	ハクセキレイ	155	108	71	43	70	447	
66			セグロセキレイ	0	2	0	0	5	7	
67			タヒバリ	11	6	0	0	0	17	
68		アトリ	アトリ	0	0	92	0	57	149	
69			カワラヒワ	295	276	145	33	87	836	
70			ベニマシコ	6	1	0	0	0	7	
71			シメ	2	1	3	0	3	9	
72		ホオジロ	ホオジロ	1	11	0	1	0	13	
73			カシラダカ	0	2	0	0	0	2	
74			アオジ	20	20	2	4	2	48	
75			オオジュリン	61	41	0	0	0	102	
種名特定できず			カモS P	13	0	0	0	5	18	
			カモメS P	13	1	0	0	0	14	
			カラスS P	7	0	15	0	0	22	
			ヒタキS P	0	1	0	0	0	1	
確認種個体数合計（羽）				9,965	6,157	4,607	6,667	9,451	36,847	

資料 4 平成28年5月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	1	4	2	2	2	11	0	0	11
2	イソシギ	14	4	2	0	0	20	0	0	20
3	イワツバメ	0	14	0	0	0	14	0	0	14
4	オオヨシキリ	31	25	0	0	0	56	0	0	56
5	オナガ	23	16	21	39	44	17	74	52	143
6	オナガガモ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
7	カルガモ	37	1	39	5	7	46	39	4	89
8	カワウ	20	30	10	0	27	84	2	1	87
9	カワラヒワ	38	20	5	3	21	35	20	32	87
10	キジバト	18	11	29	17	32	22	56	29	107
11	コアジサシ	1	0	0	0	24	25	0	0	25
12	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
13	コサギ	12	3	1	0	6	22	0	0	22
14	コチドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
15	シジュウカラ	20	6	26	25	22	13	51	35	99
16	スズメ	407	283	154	483	410	285	668	784	1,737
17	セッカ	1	3	0	0	0	4	0	0	4
18	ダイサギ	3	5	0	0	2	9	0	1	10
19	チュウシャクシギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
20	チョウゲンボウ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
21	ツバメ	62	41	9	10	39	100	18	43	161
22	ハクセキレイ	7	11	2	2	2	17	4	3	24
23	ハシブトガラス	23	29	12	22	51	31	42	64	137
24	ハシボソガラス	22	18	45	30	19	35	64	35	134
25	バン	0	0	7	0	0	1	6	0	7
26	ヒバリ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
27	ヒヨドリ	20	30	16	13	36	37	36	42	115
28	ムクドリ	338	262	128	160	215	522	294	287	1,103
29	メジロ	0	0	3	0	0	3	0	0	3
	合計	1,104	818	511	811	961	1,417	1,376	1,412	4,205
*	カラス S P	3	0	0	0	0	3	0	0	3
	総合計 (羽)	1,107	818	511	811	961	1,420	1,376	1,412	4,208

資料 5 平成28年7月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	7	3	1	0	3	13	1	0	14
2	イソシギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
3	イワツバメ	0	11	0	2	0	11	2	0	13
4	ウミネコ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
5	オオヨシキリ	4	8	0	0	0	10	0	2	12
6	オナガ	15	5	33	57	34	15	71	58	144
7	カルガモ	16	0	34	2	35	26	59	2	87
8	カワウ	14	31	5	4	10	58	0	6	64
9	カワセミ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
10	カワラヒワ	32	12	0	6	17	11	16	40	67
11	キジバト	24	11	17	22	24	7	31	60	98
12	ゴイサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
13	コゲラ	0	0	0	0	3	0	3	0	3
14	コサギ	7	1	3	0	1	12	0	0	12
15	シジュウカラ	7	10	17	12	16	9	30	23	62
16	スズメ	636	249	122	515	442	311	761	892	1,964
17	セグロセキレイ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
18	セッカ	0	4	0	0	0	4	0	0	4
19	ダイサギ	4	0	0	0	1	4	0	1	5
20	チュウサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
21	ツバメ	74	90	22	22	76	181	40	63	284
22	ツミ	0	0	1	0	2	0	2	1	3
23	ハクセキレイ	5	5	1	2	8	9	8	4	21
24	ハシブトガラス	25	17	12	22	102	23	59	96	178
25	ハシボソガラス	18	4	36	20	45	23	40	60	123
26	バン	0	0	2	0	0	0	2	0	2
27	ヒバリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
28	ヒヨドリ	33	17	9	13	33	17	44	44	105
29	ムクドリ	336	214	263	380	580	549	948	276	1,773
	合計	1,267	695	578	1,079	1,432	1,306	2,117	1,628	5,051
*	カモメ S P	4	0	0	0	0	4	0	0	4
*	カラス S P	4	0	0	0	0	3	0	1	4
	総合計 (羽)	1,275	695	578	1,079	1,432	1,313	2,117	1,629	5,059

資料 6 平成28年9月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	16	10	0	0	4	25	2	3	30
2	イソシギ	6	3	5	0	0	14	0	0	14
3	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
4	イワツバメ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
5	ウミネコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
6	エゾビタキ	0	1	0	0	0	0	0	1	1
7	オオバン	1	0	0	0	0	1	0	0	1
8	オナガ	12	22	11	42	19	26	25	55	106
9	カルガモ	2	3	19	12	10	11	27	8	46
10	カワウ	3	42	2	0	16	61	1	1	63
11	カワセミ	1	1	2	0	1	3	2	0	5
12	カワラヒワ	10	8	1	0	10	3	11	15	29
13	キジバト	21	14	15	14	33	15	33	49	97
14	キビタキ	0	2	0	0	0	0	1	1	2
15	コゲラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
16	コサギ	4	7	4	0	0	14	1	0	15
17	コサメビタキ	0	1	0	0	0	0	1	0	1
18	コムクドリ	0	0	0	0	30	0	0	30	30
19	シジュウカラ	12	16	28	28	38	13	54	55	122
20	スズメ	714	317	155	369	626	703	723	755	2,181
21	セイタカシギ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
22	セッカ	3	3	0	0	0	6	0	0	6
23	ダイサギ	3	12	1	0	3	19	0	0	19
24	チュウシャクシギ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
25	チョウゲンボウ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
26	ツバメ	22	9	0	0	0	31	0	0	31
27	ハクセキレイ	13	11	2	4	5	19	6	10	35
28	ハシブトガラス	24	29	17	30	58	37	47	74	158
29	ハシボソガラス	17	17	30	32	47	45	49	49	143
30	ハマシギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
31	バン	0	0	3	0	0	0	3	0	3
32	ヒバリ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
33	ヒメアマツバメ	0	4	0	0	0	4	0	0	4
34	ヒヨドリ	23	41	16	27	42	33	49	67	149
35	ムクドリ	289	265	157	221	225	466	300	391	1,157
36	メジロ	0	1	0	0	6	0	4	3	7
37	モズ	4	1	6	0	0	4	7	0	11
38	ユリカモメ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
	合計	1,209	848	475	779	1,173	1,570	1,347	1,567	4,484
*	カラスSP	0	0	10	0	0	10	0	0	10
*	ヒタキSP	0	1	0	0	0	0	1	0	1
	総合計（羽）	1,209	849	485	779	1,173	1,580	1,348	1,567	4,495

資料 7 平成28年11月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	3	2	0	1	8	14	0	0	14
2	アオジ	3	2	0	0	0	5	0	0	5
3	アトリ	0	0	0	0	55	0	55	0	55
4	イカルチドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
5	イソシギ	9	6	0	0	1	15	0	1	16
6	イソヒヨドリ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
7	ウグイス	0	5	0	0	2	4	2	1	7
8	ウミネコ	7	6	0	0	1	14	0	0	14
9	オオバン	37	15	34	5	26	107	7	3	117
10	オオヨシキリ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
11	オナガ	35	1	19	51	57	13	51	99	163
12	オナガガモ	0	0	14	0	60	1	73	0	74
13	カイツブリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
14	カシラダカ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
15	カルガモ	16	1	44	24	26	66	45	0	111
16	カワウ	36	64	6	1	27	128	2	4	134
17	カワセミ	0	1	1	0	2	1	3	0	4
18	カワラヒワ	22	67	6	2	10	57	16	34	107
19	カンムリカイツブリ	3	6	0	0	0	9	0	0	9
20	キジバト	13	15	18	13	35	19	36	39	94
21	キンクロハジロ	27	2	0	2	0	31	0	0	31
22	ゴイサギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
23	コガモ	27	0	7	0	0	34	0	0	34
24	コゲラ	0	0	0	0	4	0	3	1	4
25	コサギ	0	4	4	1	2	9	2	0	11
26	シジュウカラ	6	7	27	37	41	2	63	53	118
27	シメ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
28	ジョウビタキ	6	8	5	8	9	7	9	20	36
29	スズガモ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
30	スズメ	756	329	217	597	543	580	676	1186	2,442
31	セグロカモメ	10	1	0	2	0	13	0	0	13
32	セグロセキレイ	0	1	0	0	1	1	1	0	2
33	ダイサギ	0	2	1	0	1	4	0	0	4
34	チョウゲンボウ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
35	ツグミ	13	8	8	1	2	14	10	8	32
36	ハクセキレイ	33	37	33	12	25	75	42	23	140
37	ハシビロガモ	0	0	2	0	0	2	0	0	2
38	ハシブトガラス	37	12	18	24	115	22	72	112	206
39	ハシボソガラス	42	22	36	39	26	56	60	49	165
40	ハヤブサ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
41	バン	0	0	4	0	0	1	3	0	4
42	ヒドリガモ	72	0	37	0	61	142	28	0	170
43	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
44	ヒヨドリ	206	162	177	344	325	214	466	534	1,214
45	ホシハジロ	20	1	0	0	0	21	0	0	21
46	ムクドリ	461	123	152	226	338	258	425	617	1,300
47	メジロ	24	29	17	24	55	7	47	95	149
48	モズ	14	8	1	0	4	16	7	4	27
49	ユリカモメ	106	38	3	0	173	306	10	4	320
	合計	2,050	995	891	1,414	2,036	2,285	2,214	2,887	7,386
*	カモ S P	4	0	0	0	5	4	0	5	9
*	カモメ S P	9	0	0	0	0	8	1	0	9
*	カラス S P	0	0	2	0	0	0	2	0	2
	総合計 (羽)	2,063	995	893	1,414	2,041	2,297	2,217	2,892	7,406

資料 8 平成29年1月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	1	2	0	0	4	7	0	0	7
2	アオジ	9	5	2	2	2	16	4	0	20
3	アカハラ	0	1	0	0	1	0	1	1	2
4	アトリ	0	0	14	0	0	0	1	13	14
5	イカルチドリ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
6	イソシギ	8	7	0	0	0	15	0	0	15
7	イソヒヨドリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
8	ウグイス	1	2	1	0	2	3	1	2	6
9	ウミネコ	0	0	0	0	2	2	0	0	2
10	オオジュリン	6	23	0	0	0	29	0	0	29
11	オオバン	118	73	45	8	34	257	21	0	278
12	オナガ	5	15	1	8	57	0	47	39	86
13	オナガガモ	5	0	13	0	104	5	117	0	122
14	カイツブリ	0	0	1	1	0	1	1	0	2
15	カルガモ	33	6	31	28	18	77	38	1	116
16	カワウ	52	62	6	1	39	155	2	3	160
17	カワラヒワ	30	110	82	22	27	126	89	56	271
18	カンムリカイツブリ	2	1	0	0	4	7	0	0	7
19	キジバト	47	24	74	17	31	39	91	63	193
20	キンクロハジロ	91	24	0	0	14	129	0	0	129
21	クイナ	1	0	1	0	0	1	1	0	2
22	ゴイサギ	0	1	0	0	4	1	0	4	5
23	コガモ	22	6	40	0	0	63	5	0	68
24	コゲラ	0	0	2	2	4	0	5	3	8
25	コサギ	4	1	1	1	2	8	1	0	9
26	シジュウカラ	20	8	23	27	36	10	51	53	114
27	シメ	1	1	3	0	1	0	4	2	6
28	ジョウビタキ	4	1	2	3	5	4	7	4	15
29	シロハラ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
30	スズメ	686	243	316	605	534	587	817	980	2,384
31	セグロカモメ	12	3	1	0	2	17	0	1	18
32	セグロセキレイ	0	0	0	0	3	0	3	0	3
33	セッカ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
34	ダイサギ	0	1	1	1	0	2	0	1	3
35	タシギ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
36	タヒバリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
37	チョウゲンボウ	1	3	0	0	0	3	1	0	4
38	ツグミ	110	72	41	17	22	157	64	41	262
39	ハクセキレイ	46	24	18	15	18	70	26	25	121
40	ハシブトガラス	28	26	22	24	111	38	80	93	211
41	ハシボソガラス	41	16	44	50	25	37	64	75	176
42	バン	0	0	3	0	0	0	3	0	3
43	ヒドリガモ	172	58	50	0	61	317	24	0	341
44	ヒバリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
45	ヒヨドリ	110	114	43	200	188	115	244	296	655
46	ベニマシコ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
47	ホオジロ	1	3	0	0	0	4	0	0	4
48	ホシハジロ	47	55	0	0	6	108	0	0	108
49	ムクドリ	272	273	101	223	208	449	338	290	1,077
50	メジロ	39	60	31	40	53	48	50	125	223
51	モズ	12	6	8	1	1	18	9	1	28
52	ユリカモメ	245	215	28	1	589	1038	25	15	1,078
	合計	2,296	1,546	1,052	1,297	2,212	3,979	2,237	2,187	8,403
*	カモ S P	2	0	0	0	0	1	0	1	2
*	カモメ S P	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	総合計（羽）	2,298	1,547	1,052	1,297	2,212	3,981	2,237	2,188	8,406

資料 9 平成29年3月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	2	2	1	7	13	2	2	17
2	アオジ	8	13	0	2	0	21	0	2	23
3	アカハラ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
4	アトリ	0	0	78	0	2	0	78	2	80
5	イカルチドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
6	イソシギ	3	11	0	0	0	14	0	0	14
7	ウグイス	6	1	0	1	0	4	0	4	8
8	オオジュリン	55	18	0	0	0	73	0	0	73
9	オオセグロカモメ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
10	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
11	オオバン	149	46	41	1	46	268	15	0	283
12	オナガ	32	3	45	42	34	2	77	77	156
13	オナガガモ	0	0	4	0	78	0	82	0	82
14	カイツブリ	0	0	1	0	2	2	1	0	3
15	カモメ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
16	カルガモ	36	3	42	16	17	69	45	0	114
17	カワウ	34	72	7	2	4	108	3	8	119
18	カワラヒワ	163	59	51	0	2	132	72	71	275
19	カンムリカイツブリ	4	2	0	0	3	9	0	0	9
20	キジバト	21	18	28	28	26	31	36	54	121
21	キンクロハジロ	3	13	0	0	0	16	0	0	16
22	ゴイサギ	0	1	1	0	3	2	0	3	5
23	コガモ	85	1	36	0	0	121	1	0	122
24	コゲラ	0	0	2	0	3	0	1	4	5
25	コサギ	6	1	2	1	2	9	2	1	12
26	シジュウカラ	11	7	35	14	30	19	40	38	97
27	シメ	1	0	0	0	1	1	1	0	2
28	ジョウビタキ	2	1	4	2	1	3	3	4	10
29	シロハラ	0	1	1	0	2	1	2	1	4
30	スズメ	599	289	211	654	552	311	759	1235	2,305
31	セグロカモメ	13	4	0	1	5	20	0	3	23
32	セグロセキレイ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
33	セッカ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
34	ダイサギ	1	1	0	0	1	2	0	1	3
35	タシギ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
36	タヒバリ	9	6	0	0	0	15	0	0	15
37	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	0	1	0	1
38	ツグミ	116	88	34	25	34	190	61	46	297
39	ツミ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
40	ハクセキレイ	51	20	15	8	12	51	21	34	106
41	ハシブトガラス	28	28	32	37	82	29	90	88	207
42	ハシボソガラス	27	24	59	42	53	51	97	57	205
43	ハヤブサ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
44	バン	1	0	5	0	0	2	4	0	6
45	ヒドリガモ	129	0	94	0	189	359	53	0	412
46	ヒバリ	5	0	4	0	0	4	0	5	9
47	ヒヨドリ	53	53	82	173	135	55	209	232	496
48	ベニマシコ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
49	ホオジロ	0	8	0	1	0	8	0	1	9
50	ホシハジロ	0	32	11	0	0	43	0	0	43
51	ムクドリ	211	199	105	228	179	313	319	290	922
52	メジロ	13	3	40	8	31	3	51	41	95
53	モズ	9	5	3	0	0	13	4	0	17
54	ユリカモメ	107	217	6	0	95	381	6	38	425
	合計	2,006	1,253	1,085	1,287	1,632	2,782	2,139	2,342	7,263
*	カモS P	7	0	0	0	0	3	0	4	7
*	カラスS P	0	0	3	0	0	3	0	0	3
	総合計（羽）	2,013	1,253	1,088	1,287	1,632	2,788	2,139	2,346	7,273

資料10 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
1	キジ	キジ	キジ	0	0	5	5	4	5	6	4	0
2			コジュケイ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0
6			オシドリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7			オカヨシガモ	0	22	13	18	11	6	17	54	51
8			ヨシガモ	0	29	0	0	0	0	0	0	0
9			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24
12			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077
13			ハシビロガモ	0	54	73	94	23	32	10	0	0
14			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224
17			オオホシハジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
18			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340
19			アカハジロ	0	4	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150
21			スズガモ	0	0	2	0	0	0	0	0	2
*			カモH	0	0	0	0	0	1	0	0	1
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモS P	0	0	0	0	31	46	0	9	87
*			ハクチョウS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19
23			カンムリカイツブリ	0	0	0	2	1	0	0	0	1
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065
26			シラコバト	0	0	3	0	0	1	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075
*			ウスP	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	1	0	5	0	0	1
30			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34
31			ササゴイ	1	0	1	4	5	4	8	5	3
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	0	1	0	0	0	7
34			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75
35			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78
36			チュウサギ	0	2	0	2	0	0	1	0	0
37			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120
*			サギS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39			バン	0	94	100	78	89	76	103	69	67
40			オオバン	0	1	8	6	0	4	6	3	9
41	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	0	0	0
42			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43			カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
*			カッコウS P	0	0	0	0	0	0	1	0	0
44	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45			ヒメアマツバメ	0	0	0	0	0	4	0	12	0
46	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48			イカルチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49			コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23
50			シロチドリ	0	0	7	1	0	4	0	0	0
51			メダイチドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
*			チドリS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		シギ	タシギ	0	0	0	4	2	2	1	0	0

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	39	63	33	59	40	14	15	0	8	6	1	1	0	0	0	0
8	3	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	932	1,511	1,494	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301	727	875	923
10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
11	10	1	3	6	0	4	5	0	5	11	7	37	4	4	3	0
12	1,176	763	905	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677	687	852	563
13	11	2	18	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28	14	15	2
14	508	275	362	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380	355	326	279
15	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
16	227	383	348	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176	192	239	224
17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	177	176	208	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12	35	73	172
19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	85	94	89	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16	46	69	176
21	4	0	0	0	3	1	1	0	0	4	1	0	117	0	0	1
*	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
*	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	6	1	2	2	0	1	5	0	2	2	1	0	0	1	14	18
*	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
22	4	12	6	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19	7	15	6
23	0	2	0	0	0	2	0	1	12	0	0	0	1	1	13	25
24	0	1	0	1	1	0	0	0	1	2		0	0	0	0	0
25	1,019	1,078	1,127	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628	615	739	710
26	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0	0	0
27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	1,325	1,716	1,679	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085	742	2,377	627
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
29	0	3	1	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
30	17	15	11	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8	3	0	12
31	1	4	10	2	14	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0
32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
33	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
34	95	72	97	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100	78	90	93
35	62	57	73	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71	45	50	44
36	3	1	0	1	0	0	7	37	15	0	0	0	1	0	2	1
37	115	82	93	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63	37	51	81
*	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	2	0
38	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	2
39	59	54	115	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43	35	52	25
40	13	32	50	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229	466	431	679
41	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
42	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45	0	0	0	0	23	8	22	0	11	0	15	6	0	20	0	4
46	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	4	2	0	0	5	8
49	11	15	8	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7	6	6	2
50	1	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0
51	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17	27	1	18	6	4	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
52	0	0	0	0	1	3	3	0	2	0	0	0	15	0	0	2
53	0	0	2	0	0	0	1	0	3	4	18	10	7	6	0	2

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
54	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0
55			チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56			タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0
57			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	0	3
58			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49
59			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
60			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61		カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62			ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809
63			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482
64			カモメ	0	26	13	28	4	53	6	8	12
65			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
66			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261	265	419
67			オオセグロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	1	3
68			コアジサシ	9	0	56	46	75	163	64	29	34
69			アジサシ	0	0	0	0	0	4	0	0	0
*			カモメS P	0	0	0	0	3	7	1	3	4
70	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
71		タカ	トビ	0	2	2	0	0	0	0	4	1
72			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
73			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	2
*			タカS P	0	0	0	0	0	0	0	1	0
74	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0
76			コミミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0
77	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5
78	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14
79			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44
81			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1
82	スズメ	モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45
83		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0
84			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557
85			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397
86			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910
*			カラスS P	0	0	0	0	1	10	10	39	10
87		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0
88		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0
89			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	0
90			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0
91			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121
92		ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180
93		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
94			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391
95			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79
96		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008
97		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37
*			ウグイスS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
98		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
99		ムシクイ	メボソムシクイ	0	0	1	0	0	0	1	0	0
100			センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0
101		メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223
102		ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128
103			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	1	1	0
104		セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104
105		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0
106			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
107		ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566
108			コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	9	0
109		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	0	0	0	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7	5	3
56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	2	2	6	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8	0	0
58	51	39	57	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72	60	80
59	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
60	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0
61	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62	9, 297	7, 376	6, 200	7, 289	5, 450	5, 808	6, 789	4, 167	2, 899	3, 793	1, 448	1, 424	2, 010	848	1, 588	1, 825
63	610	319	577	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73	121	20
64	0	0	2	3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6	2	1
65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66	413	307	364	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104	119	54
67	19	10	1	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2	1	3
68	81	21	72	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14	17	25
69	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9	60	14
70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
71	1	2	2	3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2	2	0
72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
73	0	1	2	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1	2	1
*	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0
74	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
77	8	6	3	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7	9	10
78	12	21	36	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23	21	22
79	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
80	32	78	32	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16	10	11
81	0	0	4	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0	3
82	48	56	43	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53	68	83
83	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
84	545	630	662	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824	644	798
85	1, 456	1, 340	1, 229	1, 212	1, 441	998	1, 004	802	834	829	922	912	965	842	975	946
86	3, 899	3, 725	3, 936	3, 207	3, 282	2, 698	2, 659	1, 903	1, 702	1, 642	1, 707	1, 223	1, 203	1, 146	1, 184	1, 097
*	0	0	0	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42	22	22
87	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
88	0	0	0	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0	0	0
89	0	0	4	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	2	0
91	230	179	303	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556	585	612
92	193	197	134	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46	33	24
93	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
94	711	492	713	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327	371	476
95	44	25	33	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55	36	28
96	3, 245	3, 213	3, 435	2, 646	2, 863	3, 415	2, 665	3, 058	2, 285	2, 178	2, 118	2, 597	2, 173	2, 742	2, 689	2, 734
97	51	47	48	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24	20	28	21
*	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
98	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0
99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
101	436	545	311	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375	568	366	477
102	97	104	80	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29	43	72	70
103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
104	90	57	53	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10	13	29	18
105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
107	6, 728	6, 913	7, 024	5, 967	6, 658	7, 223	6, 748	6, 680	6, 459	5, 781	6, 902	7, 823	7, 156	7, 527	7, 382	7, 332
108	71	0	70	38	6	30	24	31	18	13	38	3	0	9	4	30
109	7	7	1	12	0	16	3	9	11	6	2	14	1	8	6	6

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
110	スズメ	ヒタキ	アカハラ	0	0	6	1	2	1	1	0	4
111			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565
112			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
113			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45
114			ノビタキ	0	0	1	2	2	5	0	0	0
115			サバクヒタキ	0	0	0	2	0	3	0	0	0
116			イソヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	1
117			エゾビタキ	0	0	0	0	0	0	0	1	0
118			サメビタキ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
119			コサメビタキ	1	0	0	9	1	1	0	2	1
120			キビタキ	1	2	1	1	3	1	0	5	0
121			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122			オオルリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0
*			ヒタキS P	0	0	0	0	0	0	0	2	0
123		スズメ	ニュウナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124			スズメ	3, 287	7, 756	10, 129	12, 217	11, 639	14, 300	12, 487	15, 329	18, 003
125		セキレイ	キセキレイ	0	1	0	2	0	0	0	0	0
126			ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708
127			セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	0
128			ビンズイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
129			タヒバリ	0	1	39	40	52	30	5	1	10
130		アトリ	アトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131			カワラヒワ	256	552	566	455	822	506	429	463	554
132			マヒワ	0	0	2	0	184	0	0	0	2
133			ベニマシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
134			ウソ	0	0	0	0	0	1	0	0	0
135			シメ	0	3	7	0	6	6	9	13	2
136			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
137			ホオジロ	ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57	41
138		ホオアカ		0	0	0	0	0	0	0	1	1
139		キマユホオジロ		0	0	0	1	0	0	0	0	0
140		カシラダカ		0	0	22	0	0	9	2	1	5
141		アオジ		0	0	66	60	128	75	111	114	106
142		クロジ		0	0	0	0	0	0	1	0	0
143		シベリアジュリン		0	0	0	0	1	0	0	0	0
144		オオジュリン		2	49	42	106	167	86	164	54	127
*		ホオジロS P		0	0	0	0	0	0	0	0	0
総 合 計 (羽)				10, 613	23, 007	30, 765	36, 999	35, 359	41, 760	36, 824	42, 110	51, 557

※種名に S P とあるものは、種名まで確認できなかったもの

※種名に H とあるものは交雑種（hybrid）、特定の種の特徴が強く表れているものはその種名の後に H をつけている

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
110	4	4	5	6	0	9	6	6	6	3	0	7	1	1	2	3
111	599	889	617	844	588	767	618	1,190	669	1,343	716	875	459	630	577	591
112	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
113	67	90	90	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41	42	41	61
114	0	0	2	0	0	1	1	5	0	1	9	1	0	1	0	0
115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
116	0	0	0	0	1	0	5	1	5	3	2	4	2	2	3	5
117	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
118	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
119	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1
120	2	0	1	1	1	0	1	2	3	0	2	0	0	0	1	2
121	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
123	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124	18,171	18,821	15,919	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580	14,173	12,779	13,013
125	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0
126	678	755	591	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439	467	507	447
127	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	13	0	12	14	7
128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
129	14	5	13	90	66	62	77	109	73	106	69	133	41	65	51	17
130	0	3	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	149
131	748	907	838	619	496	851	722	734	646	687	596	693	529	1,258	1,108	836
132	0	12	0	0	0	0	0	0	0	3	0	24	0	0	0	0
133	0	3	3	4	0	1	0	0	2	0	0	4	0	9	2	7
134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
135	21	9	18	10	1	3	6	19	7	14	1	23	1	24	10	9
136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
137	62	99	38	37	24	35	35	33	29	17	25	49	17	43	28	13
138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
139	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
140	3	1	3	2	9	0	0	1	0	11	3	2	0	4	4	2
141	175	160	161	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46	107	51	48
142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
143	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
144	297	190	310	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122	199	197	102
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
計	55,212	54,091	50,794	46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584	36,776	37,192	38,211	36,847

※参考

《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成28年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40	40

資料11 平成28年度 野鳥モニター活動記録

- 4月 野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
- 4月24日（日）野鳥モニター基礎研修会
- 5月 野鳥生息調査（1回目）
- 7月 野鳥生息調査（2回目）
- 7月14日（木）野鳥モニター調査報告会（27年度調査分）
- 9月 野鳥生息調査（3回目）
- 11月 野鳥生息調査（4回目）
- 11月27日（日）区民向け野鳥観察会
- 1月 野鳥生息調査（5回目）
- 1月14日（土）野鳥モニター研修会（茨城県・涸沼周辺）
- 3月 野鳥生息調査（6回目）



基礎研修会



調査報告会



観察会



研修会

平成 2 9 年 8 月発行

発 行 足立区

編 集 足立区 環境部 環境政策課 環境事業係
東京都足立区中央本町一丁目 1 7 番 1 号
電話 0 3 - 3 8 8 0 - 5 8 6 0